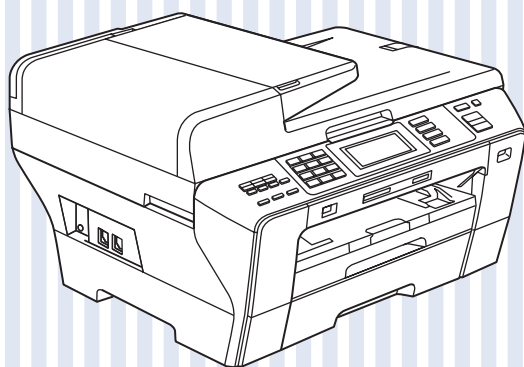
brother

JUSTIO 複合機

MFC-6890CN かんたん設置ガイド

はじめにお読みください

設置が終わったら
ユーザーズガイドをご覧ください。

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 ◆本書の「困ったときは（トラブル対処法）」 ◆別冊のユーザーズガイド7章「こんなときは」 で調べる

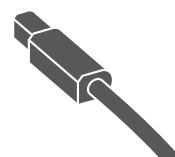
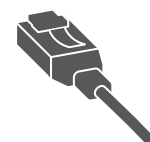
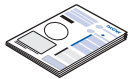
2 サポート ブラザー 検索 ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる http://solutions.brother.co.jp/

携帯電話からでも簡単なサポート情報を見ることができます。
http://m.brother.co.jp/support/

オンラインユーザー登録 ▶ https://regist.brother.jp/

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本書はなくさないように注意し、いつでも手に取って見ることができるようにしてください。

Step 1 設置・接続する

Step 2 パソコンに接続する

USB接続 Windows® Macintosh

有線LAN接続 Windows® Macintosh

無線LAN接続 Windows® Macintosh

付録
困ったときは

Version A

ユーザーズガイドの構成

本製品には次のユーザーズガイドが用意されています。『かんたん設置ガイド』（本書）をご覧いただき設置および接続が終了したら、別冊の『ユーザーズガイド』で安全にお使いいただくための注意や基本的な使用方法をよくお読みください。その後目的に応じて各ユーザーズガイドをご活用ください。

冊子

はじめにお読みください

■かんたん設置ガイド

・設置する
・パソコンへの接続
・ドライバ、ソフトウェアのインストール

ファクス/コピーの基本的な使い方を知りたい

■ユーザーズガイド

・ファクスを送る
・コピーする
・デジタルカメラからプリントする
・トラブル対処/お手入れ方法
・消耗品や部品の交換

※本書の内容は、付属のCD-ROMに収録されている「画面で見るマニュアル」（HTML形式）からも閲覧できます。

使いたい機能をすばやく探せます。

HTML（CD-ROM）

「画面で見るマニュアル」（HTML形式）

以下の内容が含まれています

■ユーザーズガイド

・ファクス/プリンタ/コピーの使用方法
・デジタルカメラからプリント
・トラブル対処/お手入れ方法
・消耗品や部品の交換

■パソコン活用ガイド

・プリンタとして使う
・スキャナとして使う
・パソコンからファクスを送受信する
・ControlCenterで便利に使う

■ネットワーク設定ガイド

・LANにつないで使う
・ネットワークスキャナ、ネットワークプリンタとして使うための設定

CD-ROMに収録されている「画面で見るマニュアル」を見たいときは、以下の手順で操作します。

Windows®の場合

Windows®をお使いの場合、パソコンにドライバをインストールすると、Windows®のスタートメニューから「画面で見るマニュアル」を閲覧できます。[スタート] メニューから、[すべてのプログラム（プログラム)] ー [Brother] ー [MFC-6890CN] ー [画面で見るマニュアル(HTML形式)] を選んでください。

Macintoshの場合

1 付属のCD-ROMをMacintoshのCD-ROMドライブにセットする
2 「Documentation」をダブルクリックする
3 「top.html」をダブルクリックする
◆「画面で見るマニュアル」が表示されます。

最新版のマニュアルが、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。

PDF

■パソコン活用ガイド
■かんたん設置ガイド
■ネットワーク設定ガイド
■ユーザーズガイド

最新のドライバや、ファームウェア（本体ソフトウェア）を入手するときは？

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行なっております。
最新のドライバやファームウェアを弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）よりダウンロードすることでお手元の製品の関連ソフトウェアを新しくしていただくことができます。

最新のドライバをお使いいただくことで、新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルがあるときも、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。

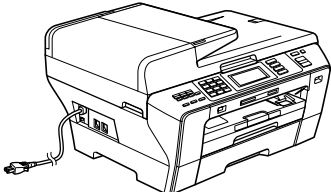
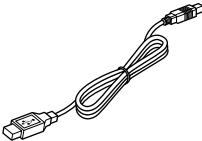
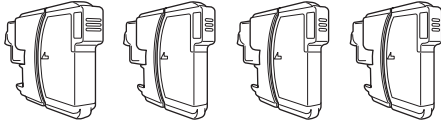
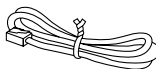
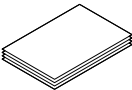
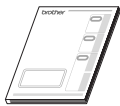
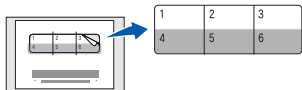
ダウンロード・操作手順について詳しくは、http://solutions.brother.co.jp/ へ

目次

本書のみかた

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

記号	説明
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。
注意	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
	知っていると便利なことや、補足を記載しています。
	本書内での参照先を記載しています。

注意

■ 本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。

1 付属品の確認と保護部材の取り外し

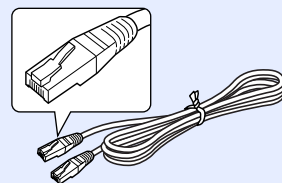
付属品を確認する

不備な点がございましたら、お買い上げの販売店または「お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）」にご連絡ください。

本体	USB ケーブル	初期インクカートリッジ（4 個）※	
電話機コード	A4 記録紙（普通紙）	通常はがき印刷用下じき（普通紙･インクジェット紙）	光沢はがき印刷用下じき
かんたん設置ガイド（本書）	ユーザーズガイド	CD-ROM	ワンタッチダイヤル宛て名ラベル

※ お買い上げ後はじめてインクカートリッジを取り付けるときは、必ず初期インクカートリッジをご使用ください。

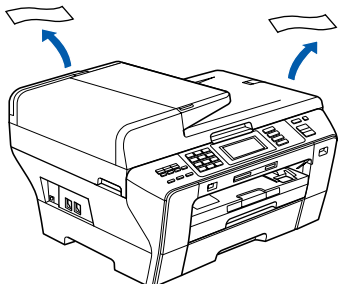
注意

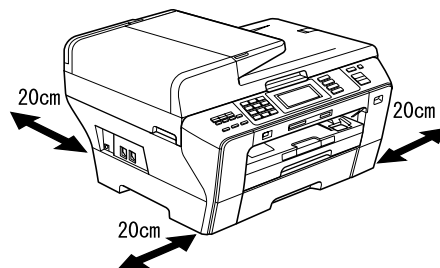
■ 本製品をネットワークに接続する LAN ケーブルは同梱されておりません。LAN 環境でお使いになる場合は、カテゴリ 5（100BASE-TX 用）のストレートケーブルをお買い求めください。

保護部材を取り外す

製品を取り出したら、テープや保護部材を取り外します。梱包用の箱や保護部材は輸送の時に使用しますので、廃棄せずに保管してください。

1 本製品から輸送用の保護部材や梱包材を取り除く

2 本製品を固定しているテープやフィルムをすべてはがす

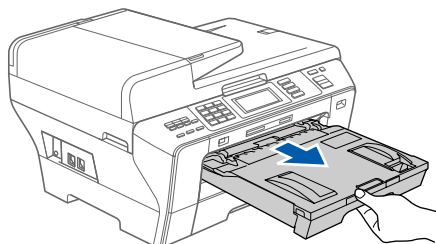
タッチパネルに貼られたフィルムもはがしてください。

設置スペースを確認する

本製品を設置するときは、まわりに下記のスペースを確保してください。

2 用紙をセットする

「印刷テスト」を行うために、トレイ 1 に付属の記録紙（A4）をセットします。

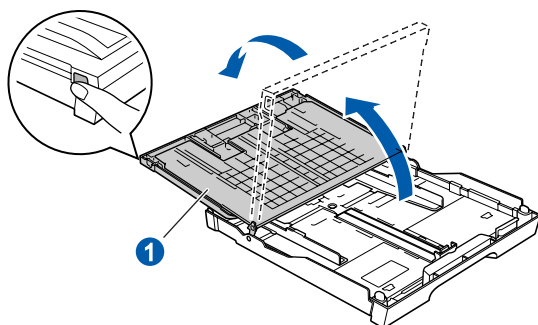
記録紙トレイ 1 には、A4 サイズの紙を約 100 枚までセットできます。セットできる記録紙の詳細については、ユーザーズガイドをご覧ください。
⇒ユーザーズガイド第 1 章「記録紙のセット」

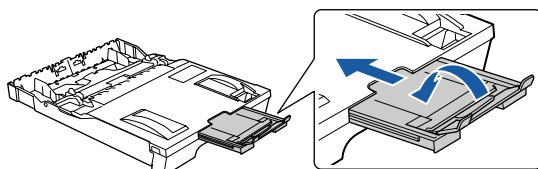
1 記録紙トレイ 1 を引き出す

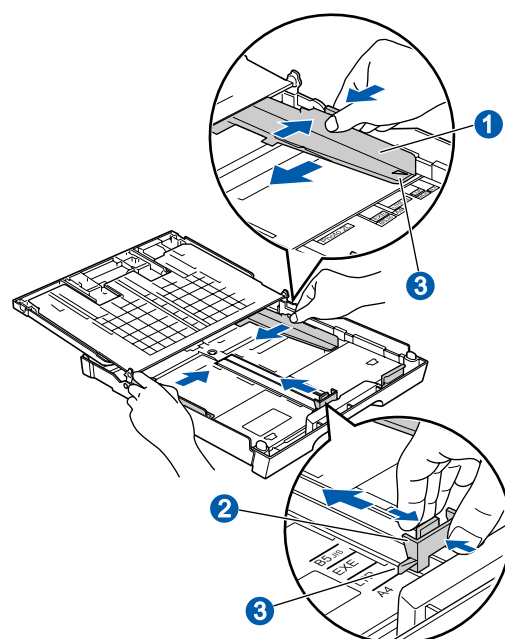
記録紙トレイが抜けにくい場合は、一旦奥まで差し込んで一気に引き出してください。

注意

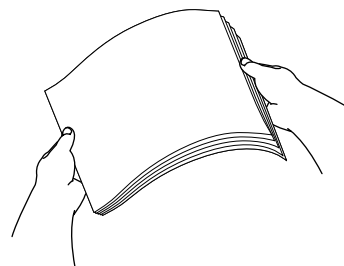
■「印刷テスト」を行うために必ずトレイ 1 に記録紙をセットしてください。

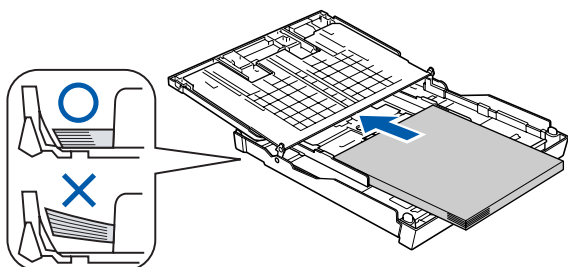
2 トレイカバー❶を開く

注意

■ トレイカバーが倒れて指をはさまないようにご注意ください。

記録紙ストッパーが開いている場合は、閉じてからトレイカバーを開けてください。

3 両手で幅のガイド❶をゆっくりと動かし、記録紙の幅に合わせて調節する。長さのガイド❷も記録紙の長さに合わせて調節する

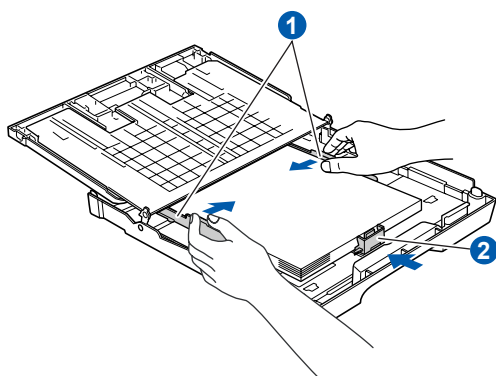
それぞれのガイドに付いている△の目印❸をセットする記録紙サイズの目盛りに合わせます。

4 記録紙をさばく

紙づまりや給紙ミスがないように、記録紙をさばきます。
記録紙がカールしていないことを確認してください。記録紙がカールしていると紙づまりの原因になります。

5 印刷したい面を下にして、記録紙の上端から先にセットする

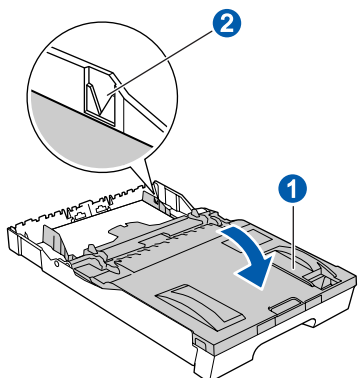
記録紙の先端がコツンと当たるところまでセットします。強く押し込まないでください。

6 幅のガイド❶と長さのガイド❷を、記録紙サイズに合わせて調節する

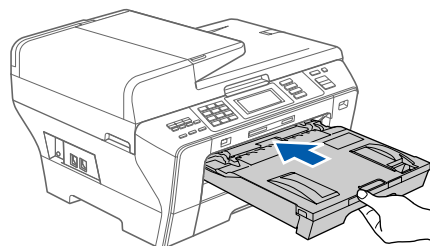
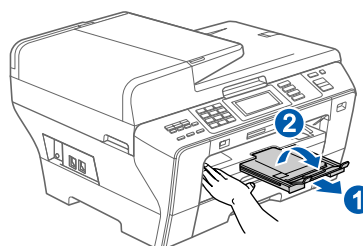
両手で幅のガイドを寄せるように調節します。

また、幅と長さのガイドが記録紙に合っていることを確認してください。

注意

- トレイカバーが倒れて指をはさまないようにご注意ください。
- 幅と長さのガイドで記録紙を強くはさみつけないようにご注意ください。記録紙が浮いたり、傾いたりして、うまく給紙されない場合があります。

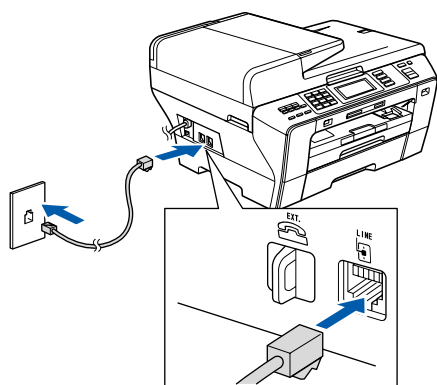
7 トレイカバー❶を閉じる

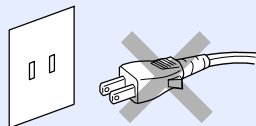
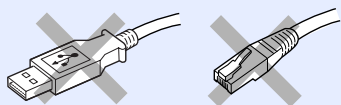
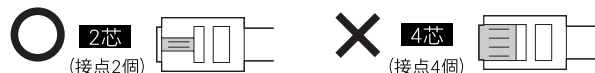
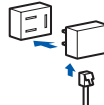
記録紙が記録紙トレイの中で、▽の目印❷よりも下の位置で平らになっていることを確認してください。

8 記録紙トレイ 1 を本体に戻す

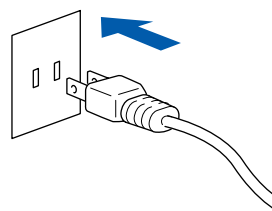
記録紙トレイをゆっくりと確実に本体に戻します。トレイを強く押し込むと紙づまりの原因になります。力を入れて押し込まないでください。

9 トレイに手を添え、記録紙ストッパーを確実に引き出し❶、フラップを開く❷

3 接続する

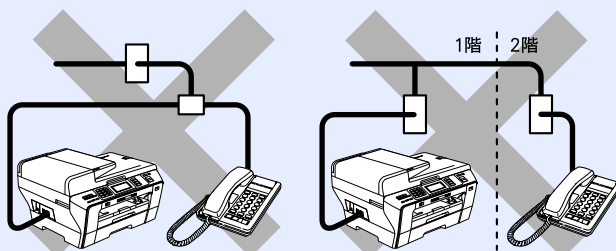
注意

- ■ 以下に示す接続方法は一例です。間違った接続は他の機器に悪影響を与える可能性があります。以下に示す接続方法以外の接続をしたいときは、販売店にご相談ください。
- ■ お使いの電話回線にすでに何台かの電話機が接続されている場合は、本製品がご使用になれない場合があります。この場合は、配線工事が必要となります。工事には「電話工事担任者」の資格が必要となりますので、取り付け工事を行った販売店またはご利用の電話会社にご相談ください。
- ■ お使いの回線が ADSL・ISDN・ホームテレホン・ひかり電話などの場合は、「いろいろな接続」をご覧ください。
⇒ 17 ページ「いろいろな接続」

1 付属の電話機コードを本製品側面の「LINE」接続端子と壁側の電話機コード差し込み口に差し込む

注意

- ■ 電源はまだ入れないでください。先に電話機コードから接続します。

- ■ ここではまだパソコンと接続しません。USB ケーブルや LAN ケーブルは接続しないでください。

付属品の電話機コードをご使用にならない場合も、6 極 2 芯の電話機コードをお使いください。6 極 4 芯の電話機コードをご使用になると、通話中に雑音が入ることがあります。

3 ピンプラグ式の場合は、市販のモジュラー付き電話キャップを購入してください。

直接配線式の場合は、別途工事が必要です。ご利用の電話会社にお問い合わせください。

2 電源プラグをコンセントに差し込む

注意

- ■ ブランチ接続（並列接続）はしないでください。
ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。
    - ファクスを送ったり受けたりしているときに、並列接続されている電話機の受話器を上げるとファクスの画像が乱れたり通信エラーが起こる場合があります。
    - 電話がかかってきたとき、ベルが鳴り遅れたり、途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できない場合があります。
    - コードレスタイプの電話機を接続すると、子機が使えなくなる可能性があります。
    - 本製品で保留にした場合、並列電話機では本製品の保留状態を解除できません。
    - 並列に接続された電話機から本製品への転送はできません。
    - ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン、キャッチホン・ディスプレイなどのサービスが正常に動作しません。
    - パソコンを接続すると、本製品が正常に動作しない場合があります。

「ブランチ接続（並列接続）」とは、一つの電話回線に複数台の電話機を接続することです。

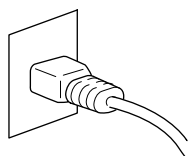
4 インクカートリッジを取り付ける

⚠ 注意

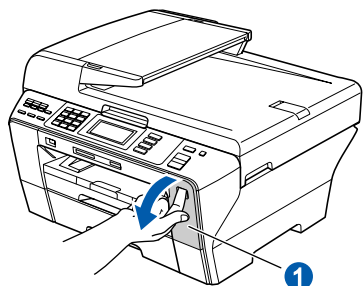
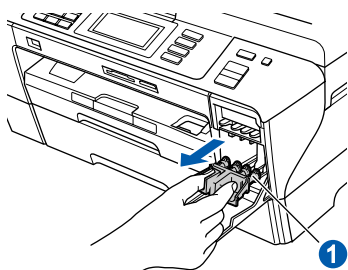
● 誤ってインクが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

注意

■ 本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷をしていなくてもインクが消費されます。
■ インクカートリッジは、色によってセットする場所が決められています。間違った色の場所にインクカートリッジをセットしないようご注意ください。

1 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認する

2 画面の表示を確認する

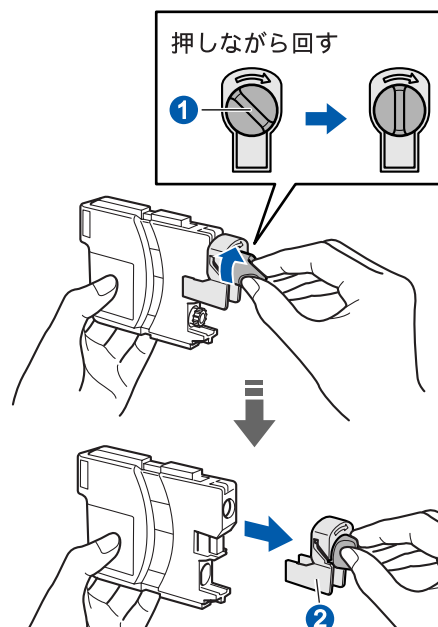
画面には【カートリッジがありません】と表示されています。

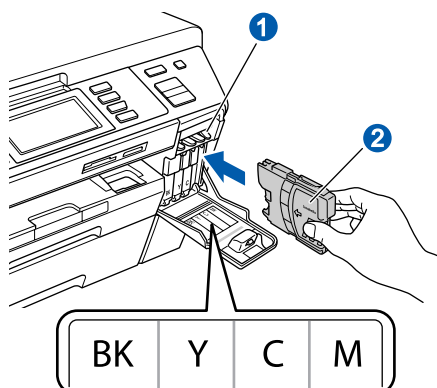
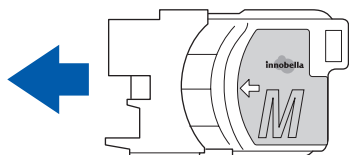
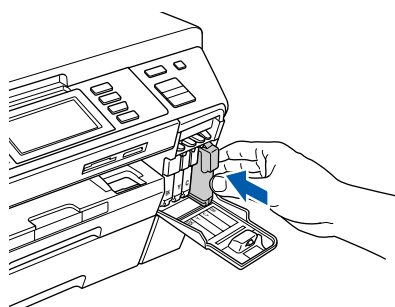
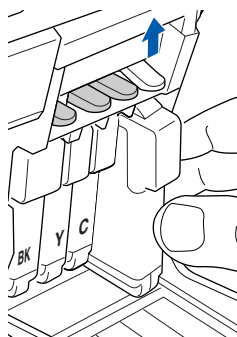
3 インクカバー❶を開く

4 インク挿入口にセットされている緑色の保護部材❶を取り出す

注意

■ 保護部材は捨てないでください。本製品を輸送する時に必要です。

5 インクカートリッジを準備する

付属の初期インクカートリッジを開封します。
お買い上げ後はじめてインクカートリッジを取り付けるときは、必ず初期インクカートリッジをご使用ください。

6 インクカートリッジの緑色のつまみ❶を右に最後まで回して封印を開放し、黄色いキャップ❷を引き抜く

❼ インクカートリッジを取り付ける

リリースレバーの色❶と、インクカートリッジの色❷を合わせてください。

インクカートリッジは、本製品に向かって左の面にラベルがあるように、垂直にして差し込みます。

❽ インクカートリッジをカチッと音がするまで確実に押し込む

セットしたカートリッジの色のリリースレバーが上がっているか確認します。

注意

- ■ インクカートリッジは交換時以外には取り外さないでください。インクの量が減り、本製品がインクの残量を正しく把握できなくなることがあります。
- ■ インクカートリッジを振らないでください。皮膚や服に付いた場合は、すぐに石けんや洗剤などで洗い流してください。
- ■ インクカートリッジの取り付け、取り外しを繰り返さないでください。インクカートリッジからインクが漏れることがあります。
- ■ 間違った色のインクをセットしてしまった場合は、正しい色の場所に付け直した後、プリントヘッドのクリーニングを複数回行ってください。プリントヘッドのクリーニング方法は、ユーザーズガイドをご覧ください。
  ⇒ユーザーズガイド第７章「こんなときは」－「プリントヘッドをクリーニングする」
- ■ 開封したインクカートリッジは､6ヶ月以内に使い切ってください。未開封の場合でも、パッケージに記載された有効期限以内に使用してください。
- ■ インクカートリッジを分解しないでください。インク漏れの原因になります。
- ■ インクカートリッジにインクを補充しないでください。必ず、弊社指定の純正インクカートリッジをお使いください。純正以外のインクカートリッジを使用すると、本製品を損傷する原因となり、印刷品質を保持できません。純正以外のインクカートリッジを使用したことによる不具合は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。本製品及び印刷品質保持のため、純正のインクカートリッジをお使いになることをお勧めします。

❾ インクカバーを閉じる

自動的に約４分間､プリントヘッドのクリーニングが行われます。

クリーニングを行う音がしますが､異常ではありませんので、電源を切らないでください。

【印刷できません】と表示された場合は、インクカートリッジが正しくセットされているか確認してください。

プリントヘッドのクリーニングが終わると、【記録紙をセットして　スタートボタンを押す】と表示されます。

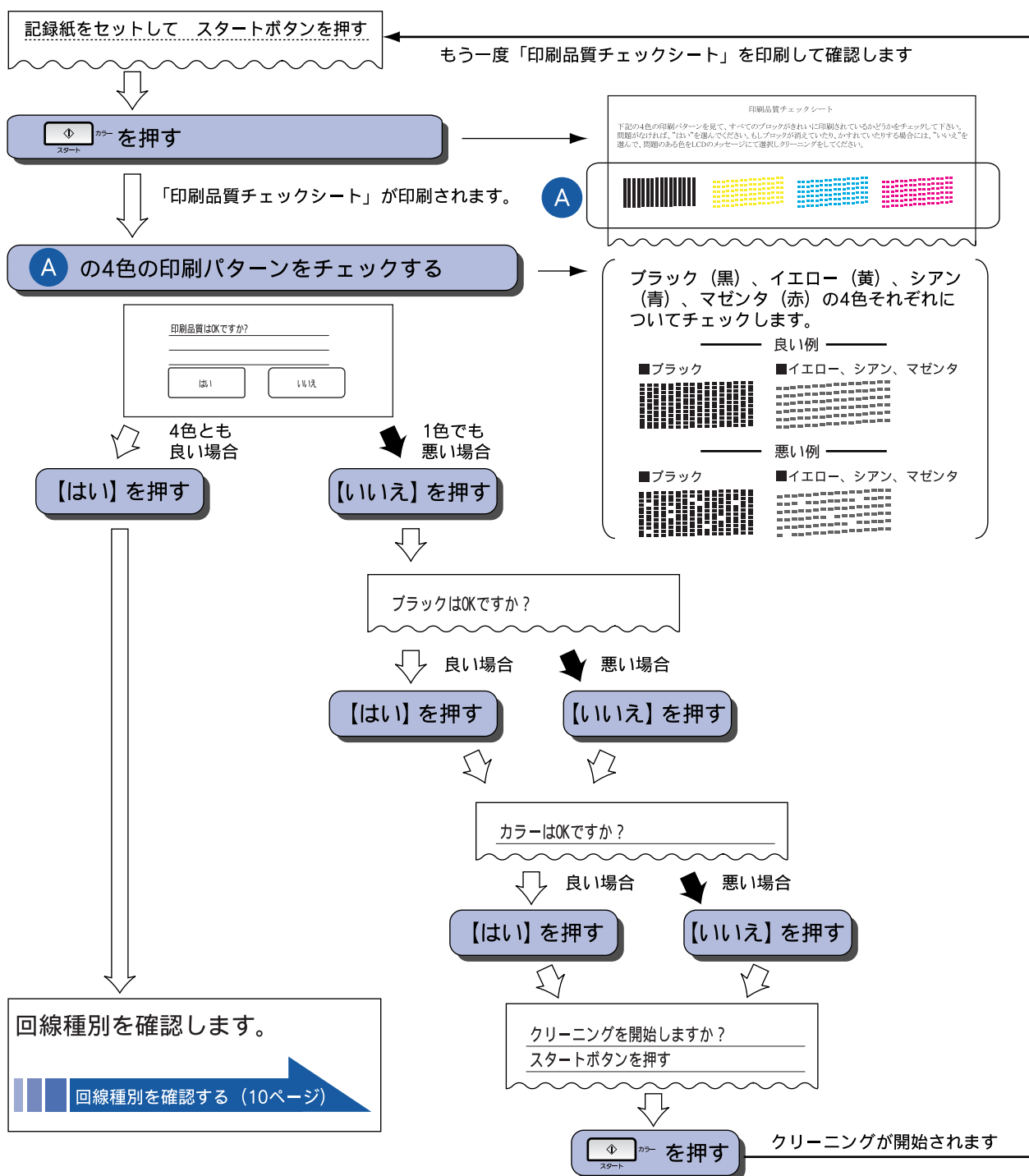
引き続き、印刷テストへ進みます。

印刷テストをする（9 ページ）

5 印刷テストをする

プリントヘッドのクリーニングが終わると、画面に【記録紙をセットして　スタートボタンを押す】と表示されます。
以下の手順に従って、印刷品質のチェックを行います。

注意

■ 印刷テスト用の記録紙はトレイ 1 から給紙されます。トレイ 1 に記録紙をセットしてください。

クリーニングを繰り返しても印刷品質が悪い場合は、3 ～ 5 時間放置した後で、再度「印刷品質チェックシート」を印刷してみてください。

インクカートリッジをしっかり取り付けずに印刷テストをしてしまった場合、5 回以上クリーニングを行わないと印刷品質が正常にならないことがあります。

6 回線種別を確認する

回線種別を確認します。

印刷テストが終わると、回線種別の自動設定が始まります。

自動設定が終わると、設定された回線種別が 2 秒間、画面に表示されます。

- 【プッシュ回線です】
- 【ダイヤル 20PPS です】
- 【電話機コードを接続してください】※

※【電話機コードを接続してください】と表示されたときは

電話機コードが正しく接続されていません。
5 分以内に電話機コードを正しく接続してください。(6 ページ)

電話機コードを接続しない場合は、 を押したあと、【はい】を押してください。

※ 正しく接続しないまま 5 分以上経過すると、回線種別は【ダイヤル 20PPS】（ダイヤル 20PPS 回線）に設定されます。

正常に接続できた場合は、日付と時刻を設定する画面が表示されます。

日付と時刻の設定・接続状態の確認（11 ページ）

注意

- ■ ダイヤル回線 10pps を使用しているときは、必ず手動で回線種別を設定してください。
- ■ ひかり電話サービスや直収電話サービスをご利用の場合、回線種別を自動設定できないことがあります。その場合は電話がかけられませんので、手動で回線種別を【プッシュ回線】に設定してください。
- ■ 構内交換機（PBX）、マンションアダプタなど一般と異なる回線につないでいるときや、自動設定できないときは、手動で回線種別を設定します。
- ■ IP フォンアダプタをご使用の場合、アダプタを一時的に外し、電話回線に直接つないで電源プラグを接続し直すと自動設定できます。それでも自動設定できない場合は、手動で設定してください。

手動で回線種別を設定する

(1) 【メニュー】を押す

(2) ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

(3) 【回線種別設定】を押す

(4) 回線種別を選ぶ
- 回線種別がわからないときは、【ダイヤル 20PPS】【プッシュ回線】【ダイヤル 10PPS】の順に設定してみてください。
- ひかり電話サービス、直収電話サービスをご利用の場合は、【プッシュ回線】に設定してください。

(5) 停止/終了 を押す

7 日付と時刻の設定・接続状態の確認

日付と時刻を設定する

[時計セット]

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は待ち受け画面に表示され、ファクス送信したときに相手側の記録紙にも印刷されます。

1 以下の画面が表示されていることを確認する

2 画面に表示されているテンキーで西暦の下２桁を入力し、OK を押す

例：2009 年の場合は、0 9 を押します。

3 画面に表示されているテンキーで月を２桁で入力し、OK を押す

例：6 月の場合は、0 6 を押します。

4 画面に表示されているテンキーで日付を２桁で入力し、OK を押す

例：20 日の場合は、2 0 を押します。

5 画面に表示されているテンキーで時刻を24 時間制で入力し、OK を押す

例：午後 13 時 45 分の場合は、
1 3 4 5 を押します。

日付や時刻を間違えて入力したときは、⌫ を押すと、入力し直すことができます。

設定が終わり、画面に日付、時刻が表示されます。

時刻は時間が経過すると誤差が生じます。定期的に設定し直すことをお勧めします。

発信テストをする

正しく発信できるかを確認します。オンフック を押して、「177」（天気予報：有料）などにつながるかどうかをご確認ください。つながったら、オンフック を押して回線を切ってください。
つながらない場合は、手動で回線種別を設定してください。
⇒ 10 ページ「手動で回線種別を設定する」

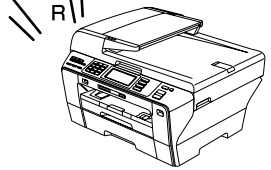
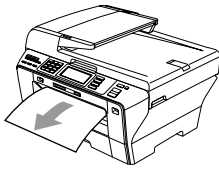
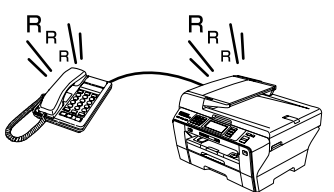
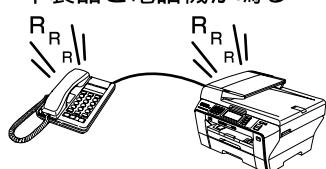
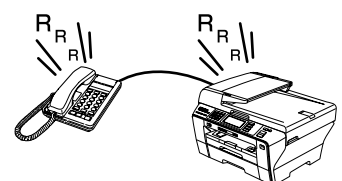
8 記録紙トレイの設定（A3 記録紙をお使いになるお客様は特にご注意ください）

本製品にはふたつの記録紙トレイがあります。上段（記録紙トレイ 1）、下段（記録紙トレイ 2）どちらのトレイも A4 サイズの普通紙以外の記録紙を使用するときは、記録紙をセットしたあと、記録紙トレイの設定を変更してください。
それまでセットしていた記録紙とは異なるサイズや種類の記録紙を使用する場合は、その都度必ず、【記録紙トレイ設定】を行ってください。
ここでは、A3 サイズの普通紙をセットした場合を例に説明します。

注意

- お買い上げ時は、記録紙トレイ 1、2 ともに、A4 サイズの普通紙をセットして使用するように設定されています。
- 記録紙トレイ 2 は普通紙限定のトレイです。セットできる記録紙は普通紙のみです。

記録紙のサイズを設定する

1. 【メニュー】を押す
2. 【基本設定】を押す
3. 【記録紙トレイ設定】を押す
4. 【記録紙トレイ #1】または【記録紙トレイ #2】を押す
   A3 サイズの記録紙をセットしたトレイを選んでください。
5. 【A3】を押す
6. 停止/終了 を押す

記録紙の種類を設定する（記録紙トレイ 1 のみ）

お買い上げ時は、すでに【普通紙】に設定されています。

1. 【メニュー】を押す
2. 【基本設定】を押す
3. 【記録紙トレイ設定】を押す
4. 【記録紙トレイ #1】を押す
5. 【普通紙】を押す
   種類はほかに【インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／ OHP フィルム】が選べます。普通紙以外の記録紙をセットしたときは必ず変更してください。
6. 停止/終了 を押す

9 受信モードを選ぶ

用途に合わせた受信モードを以下から選び設定します。お買い上げ時は「ファクス専用モード」に設定されています。

電話機を接続しない（お買い上げ時）

● ファクス専用【FAX= ファクス専用】

ファクスのとき

※ 呼出回数を 0 回にすると、本製品の着信音を鳴らさずにファクスを自動受信できます。
⇒ 15 ページ「呼出回数を設定する（ファクスのとき着信音を鳴らさずに受信する）」

※ ファクス専用モードで電話を受けるには、呼出音が 4 回鳴るまでに電話に出る必要があります。**お使いの電話機を本製品に接続する場合は、このモードに設定しないでください。**

電話機を接続する（＊）

● 自動で切り替える【F/T= 自動切換え】

※ ファクス付き電話は接続できません。

※ 呼出回数を 0 回にすると、本製品の着信音を鳴らさずにファクスを自動受信できます。
⇒ 15 ページ「呼出回数を設定する（ファクスのとき着信音を鳴らさずに受信する）」

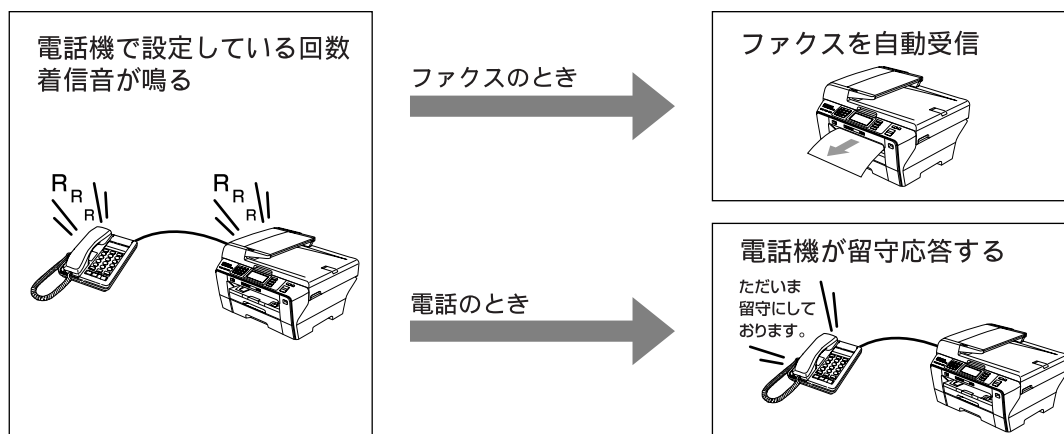
※ 本製品が着信すると、本製品と接続している電話機に出なかった場合でも相手に通話料金がかかります。

※ 回線がつながった後に鳴る再呼出音の回数も設定できます。詳しくは、ユーザーズガイドをご覧ください。

※ ファクスが自動受信されない場合は、受話器をとってから［カラー スタート／モノクロ］【受信】の順に押して手動でファクスを受信してください。

● 手動で切り替える【TEL= 電話】

電話機を接続する(＊)

● 外出するとき【留守 = 外付け留守電】

※ ファクス付き電話は接続できません。

※ 本製品と接続している留守番電話機の設定は、以下のようにしてください。

- 本製品と接続している留守番電話機の設定は「留守」にしてください。
- より確実に受信するために、呼出回数が設定できる機種では、応答するまでの呼出回数を短め（1 ～ 2 回）に設定してください。
- 応答メッセージは、最初に 4、5 秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20 秒以内）に録音してください。
- 応答メッセージには、BGM を録音しないでください。
- 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に取り付けられていることを確認してください。

メッセージがいっぱいで留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも自動受信しません。

留守番電話機の機能が一部使えなくなる場合があります。（転送機能など）

受信モードを設定する

［受信モード］

本製品の使用目的に応じて、受信モードを選びます。

1 【メニュー】を押す

2 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 【受信モード】を押す

4 受信モードを選ぶ

受信モードは、【FAX= ファクス専用】【F/T= 自動切換え】【留守 = 外付け留守電】【TEL= 電話】から選びます。

5 停止/終了 を押す

呼出回数を設定する（ファクスのとき着信音を鳴らさずに受信する）

［呼出回数］

「ファクス専用モード」と「自動切替モード」の場合、自動受信するまでの呼出回数を設定します。

本製品に接続されている電話機も、ここで設定した回数だけ着信音が鳴ります。お買い上げ時は【4】に設定されています。

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス】を押す

3 【受信設定】を押す

4 【呼出回数】を押す

5 呼出回数を選ぶ

呼出回数は【0 ～ 10】から選びます。

【0】にすると、着信音を鳴らさずに自動受信（ノンコール着信）できます。

6 停止/終了 を押す

設定を終了します。

- お使いの電話機を接続している場合、本製品の呼出回数を【0】に設定しても、お使いの電話機の着信音が 1 ～ 2 回鳴ることがあります。
- 呼出回数を 7 回以上に設定すると、特定の相手からのファクスが受信できない場合があります。呼出回数を 6 回以下に設定することをおすすめします。
- 本製品に複数台の電話機を接続すると、お使いの電話機のベルが鳴らない場合があります。

10 名前とファクス番号を登録する［発信元登録］

自分の名前とファクス番号を本製品に登録します。登録した名前とファクス番号は、ファクス送信したときに相手側の記録紙の一番上に印刷されます。

2010/01/21 15:25 052XXXXXXX 山田 太郎 ページ 01/01

〇〇〇のお知らせ

拝啓

平素は格別のお引立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、先日ご依頼のありました〇〇のカタログを送付いたします。何とぞ詳細にご検討くださいますようお願い申し上げます。

1 【メニュー】を押す

2 ▼/▲ を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 【発信元登録】を押す

ファクス番号の入力画面が表示されます。

4 ファクス番号を入力し、OK を押す

ファクス番号を電話番号と共通で使用している場合は、電話番号を入力してください。

20桁まで入力できます。ハイフンは入力できません。

名前の入力画面が表示されます。

5 名前を入力し、OK を押す

名前として入力できる文字数は 16 文字までです。

文字の入力方法については、ユーザーズガイドをご覧ください。

⇒ユーザーズガイド付録「文字の入れかた」

6 停止/終了 を押す

設定を終了します。

発信元登録を削除するときは

以下の手順で発信元登録を削除します。

(1) 【メニュー】を押す

(2) ▼/▲ を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

(3) 【発信元登録】を押す

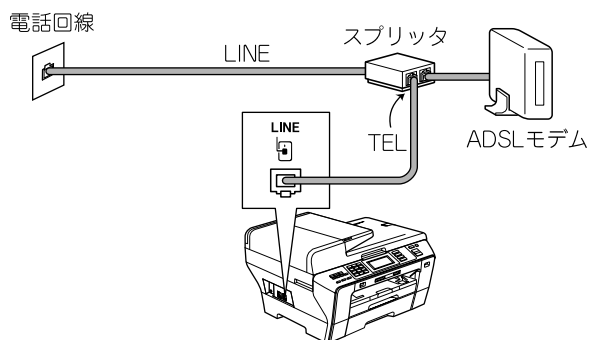
(4) ⌫ を 1 秒以上押して、ファクス番号を削除し、OK を押す

(5) 停止/終了 を押す

いろいろな接続

ADSL をご利用の場合

本製品を ADSL 環境で使用する場合は、本製品を ADSL スプリッタの TEL 端子または PHONE 端子に接続してください。

スプリッタに接続した状態で、ファクスが送受信できることを確認してください。

- お使いの機器によっては、ADSL モデムにスプリッタ機能が内蔵されている場合があります。
- 詳しい設定については、スプリッタや ADSL モデムの取扱説明書をご覧ください。
- ADSL 環境で自分の声が響く、または相手の声が聞きづらいときは、ADSL のスプリッタを交換すると改善する場合があります。

注意

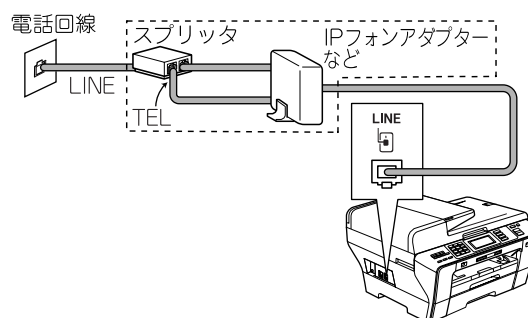
■ ADSL モデムにスプリッタ機能が内蔵されていない場合、本製品と ADSL モデムは必ず「スプリッタ」で分岐してください。「スプリッタ」より前（電話回線側）で分岐すると、ブランチ接続（並列接続）となり、通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなるなどの支障が発生します。

IP フォンなどの IP 網をご利用の場合

(1) IP フォンをご利用の場合

回線種別を自動設定できないことがあります。
その場合は、手動で回線種別を設定してください。
⇒ 10 ページ「手動で回線種別を設定する」

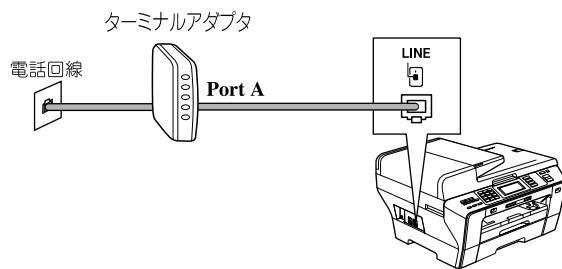
(2) IP 網を使用してファクス通信を行う場合

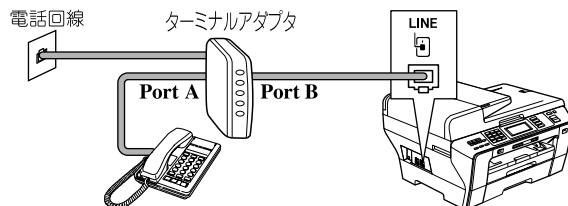
契約しているプロバイダの通信品質が保証されていることを確認してください。

ISDN をご利用の場合

本製品を ISDN 回線のターミナルアダプタに接続するときは、次の設定と確認を行ってください。

- 本製品：
  回線種別を【プッシュ回線】に設定する
- ターミナルアダプタ ：
  本製品を接続して電話がかけられるか、電話が受けられるか確認する

電話番号が 1 つの場合

本製品を、ターミナルアダプタのアナログポートに接続します。電話とファクスの同時使用はできません。

電話番号が 2 つの場合

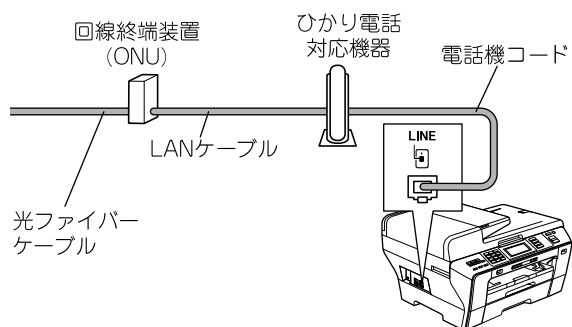
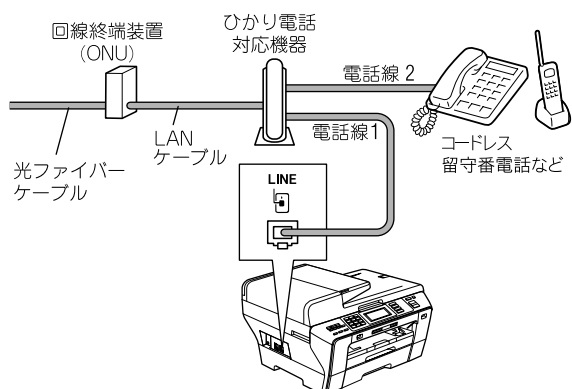
本製品を、ターミナルアダプタのアナログポートに接続します。2 回線分使用できるので、ファクス送信中でも通話できます。

詳しい設定については、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。

注意

■ ISDN 回線でファクスの送受信がうまくいかない場合は、【特別回線対応】で【ISDN】を設定してください。⇒ユーザーズガイド第 7 章「特別設定について」－「特別な回線に合わせて設定する」

■ 本製品が使用できないときは、ユーザーズガイドの「故障かな？と思ったときは」をご覧ください。また、ターミナルアダプタの設定を確認してください。ターミナルアダプタの設定の詳細は、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧いただくか、製造メーカーにお問い合わせください。

■ ナンバー・ディスプレイサービスを契約されている場合は、ターミナルアダプタ側のデータ設定と、本製品側の設定が必要です。⇒ユーザーズガイド第 1 章「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

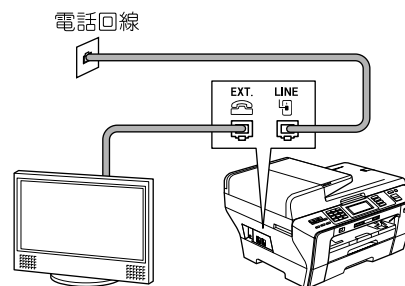
ひかり電話をご利用の場合

● ひかり電話で複数番号を使う場合

注意

- ひかり電話をご利用の場合、回線種別を自動設定できないことがあります。その場合は、手動で回線種別を【プッシュ回線】に設定してください。

  ⇒ 10 ページ「手動で回線種別を設定する」
- ひかり電話では、ケータイ通話お得サービスは使えません。
- 特定の番号だけつながらない、音量が小さい、ファクスを送受信できない、非通知相手からの着信ができないなどの問題がありましたら、ご利用の光回線の電話会社にお問い合わせください。

- ひかり電話についてのご質問はご利用の電話会社にお問い合わせください。
- ひかり電話対応機器などに設定するデータは、ご利用の電話会社から送付される資料をご覧ください。
- 回線終端装置（ONU）、ひかり電話対応機器などの接続方法や不具合は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
- お住まいの環境やご利用の電話会社により、配線方法や接続する機器が上記と異なる場合があります。

デジタルテレビを接続する場合

本製品とCSチューナーやデジタルテレビを接続するときは、「EXT.」接続端子（外付け電話端子）に接続してください。

構内交換機（PBX）・ホームテレホン・ビジネスホンをご利用の場合

本製品を構内交換機（PBX）などに接続する場合は、次のいずれかの方法で接続してください。

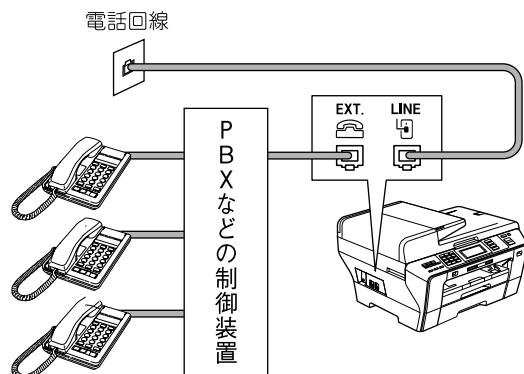
注意

- 構内交換機、ホームテレホン、ビジネスホンに接続している場合、回線種別の自動設定ができないことがあります。その場合は、手動で回線種別を設定してください。
⇒ 10 ページ「手動で回線種別を設定する」
- 着信音が鳴っても本製品が自動応答しない場合、本製品の【特別回線対応】の設定を【PBX】にしてください。
⇒ユーザーズガイド 第 7 章「特別設定について」－「特別な回線に合わせて設定する」

ホームテレホンとは
電話回線 1、2 本で複数の電話機を接続して、内線通話やドアホンも使用できる家庭用の簡易交換機です。

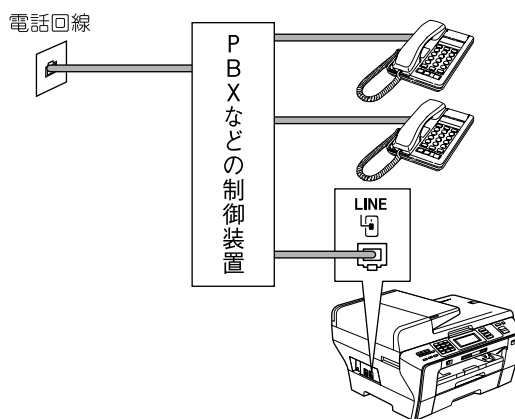
ビジネスホンとは
電話回線を 3 本以上収容可能で、その回線を多くの電話機で共有でき、内線通話などもできる簡易交換機です。

本製品の外付け電話としてホームテレホン、ビジネスホンを接続する

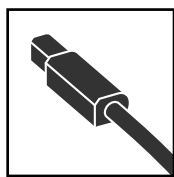
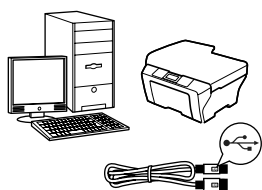
本製品の「EXT.」接続端子（外付け電話端子）に構内交換機（PBX）などの制御装置を接続してください。

本製品を構内交換機（PBX）の内線電話として使用する

構内交換機またはビジネスホンの内線に本製品を接続する場合、構内交換機またはビジネスホン主装置の設定をアナログ 2 芯用に変更してください。設定変更を行わないと、本製品をお使いいただくことはできません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。

注意

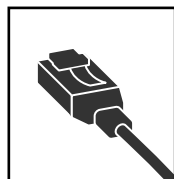
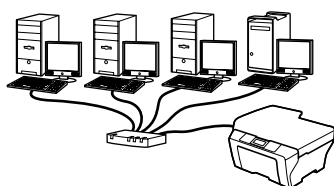
- 本製品の【特別回線対応】の設定を【PBX】にしてください。
⇒ユーザーズガイド 第 7 章「特別設定について」－「特別な回線に合わせて設定する」

PBX などの制御装置がナンバー・ディスプレイに対応していない場合は「ナンバー・ディスプレイサービス」がご利用になれません。本製品のナンバー・ディスプレイの設定を【なし】にしてください。
⇒ユーザーズガイド第 1 章「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

接続方法を選択する

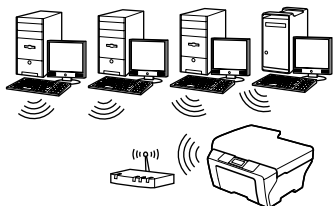
本製品をパソコンと接続してプリンタやスキャナとして使用する場合は、ドライバや付属のソフトウェアなどをインストールする必要があります。まず接続方法を選択してください。また、ソフトウェアをインストールする前に、CD-ROM に収録されている内容と、パソコンの動作環境（⇒ 62 ページ）を確認してください。

USB ケーブルで接続する場合

パソコンに直接本製品をつなぎます。

Windows® の場合　22 ページへ進む

Macintosh の場合　26 ページへ進む

LAN ケーブルで接続する場合

ルータ・ハブなどに本製品を有線でつなぎます。

29 ページへ進む

無線 LAN で接続する場合

無線 LAN アクセスポイントに本製品を無線でつなぎます。

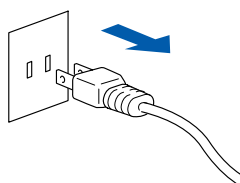
39 ページへ進む

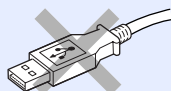
USB 接続

ドライバとソフトウェアをインストールする（Windows® の場合）

注意

- ■ インストールをする前に、「Step1　設置・接続する」が終わっていることをご確認ください。
- ■ メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが本製品に差し込まれていないことをご確認ください。
- ■ 市販のセキュリティソフトをお使いの場合は、インストールが正常に行われない可能性があります。インストールする前に、セキュリティソフトを一時的に停止させておくことをお勧めします。
- ■ インストールをする前に、USB ケーブルが接続されていないことをご確認ください。
- ■ 起動しているアプリケーションがある場合は、終了させてからインストールを始めてください。
- ■ 本製品に USB ケーブルと LAN ケーブルを同時につないでご使用になりたい場合は、手順に従って両方のインストールを行ってください。このとき、LAN ケーブルと USB ケーブルをまとめて積み上げ、本体内部の溝におさめてください。（コア付きの USB ケーブルはご使用になれません。）

1 本製品の電源プラグをコンセントから抜く

注意

- ■ ここではまだ USB ケーブルは接続しないでください。

2 パソコンの電源を入れる

Windows® 2000 Professional/XP/XP Professional x64 Edition/Windows Vista® を使用している場合は、「アドミニストレータ（Administrator）権限」または「管理者権限」でログインします。

3 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

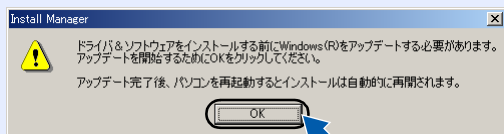
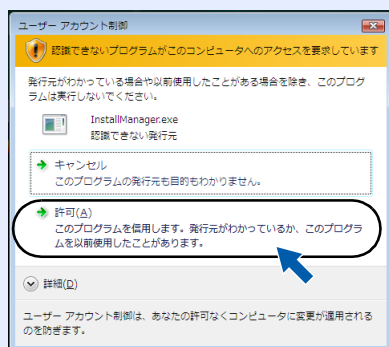
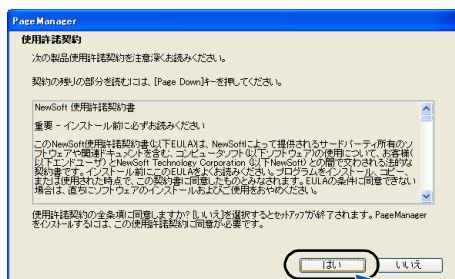
「トップメニュー」画面が表示されます。

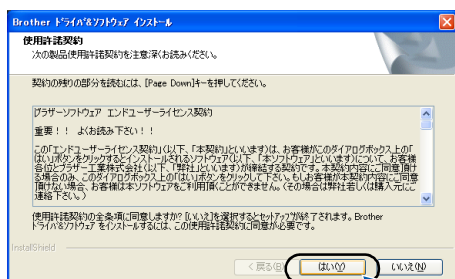
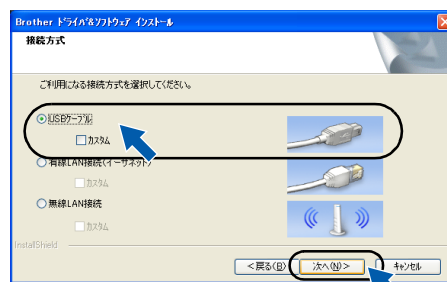
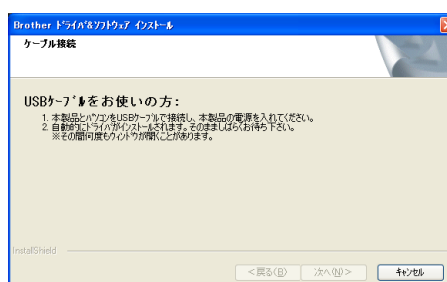
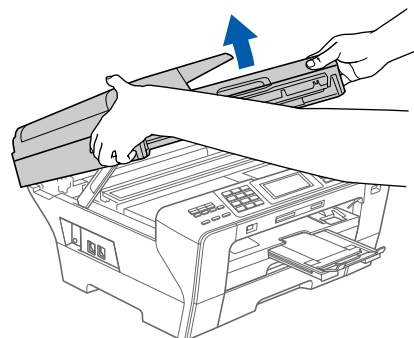
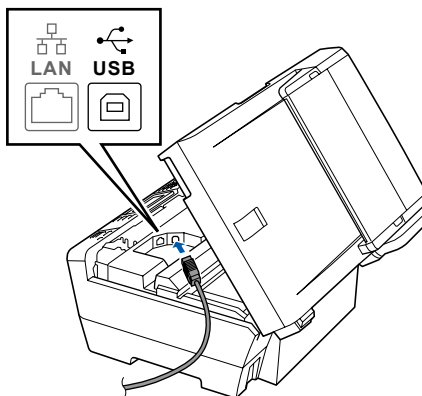
画面が表示されないときは、「マイコンピュータ（コンピュータ）」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

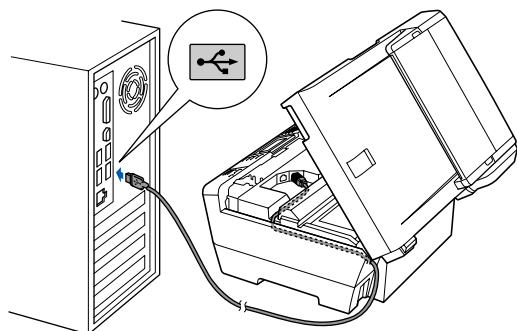
4 「トップメニュー」画面の「インストール」をクリックする

5 「インストール」画面の「インストール」をクリックする

注意

- 以下の画面が表示されたときは、[OK] をクリックし、Windows® をアップデートしてください。パソコンが再起動すると、自動的にインストールが続行されます。

- Windows Vista® をお使いの場合、以下の画面が表示されたときは、［許可］をクリックしてください。

6 Presto! PageManager の使用許諾契約の内容を確認して、[はい] をクリックする

Presto! PageManager がインストールされます。
Presto! PageManager のインストールが終わると、続いてドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

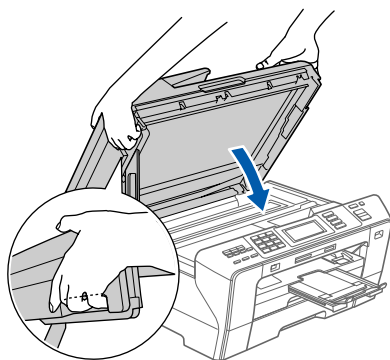
7 使用許諾契約の内容を確認し、[はい] をクリックする

8 「USB ケーブル」を選び、[次へ] をクリックする

9 パソコンにケーブル接続の画面が表示されたら、本製品とパソコンを USB ケーブルで接続する

(1) 本製品の本体カバーを両手で開く

(2) 「USB」と書かれた USB ケーブル接続端子に USB ケーブルを接続する

(3) USB ケーブルを本製品の溝におさめ、パソコンに USB ケーブルを接続する

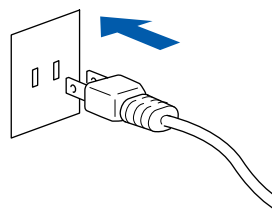
カバーを閉じる際、ケーブルが邪魔にならないようにします。

注意

■ パソコンと本製品はUSBケーブルで直接接続してください。パソコン本体以外の USB ポートや USB ハブなどを経由して接続しないでください。

(4) 本体カバーを閉じる

両方の側面の溝に手をかけて両手で本体カバーを持ち、ゆっくりと閉じてください。

⚠ 注意

● 本体カバーを閉じるときは、手をはさまないように注意して、最後まで本体カバーを持って閉じてください。けがの原因となります。
● 本体カバーを開閉するときは、必ず側面の溝に手をかけてください。

10 本製品の電源プラグをコンセントに差し込む

インストールが自動的に開始されます。

注意

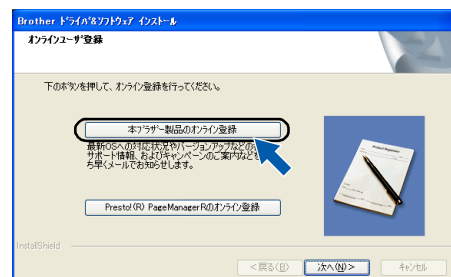
■ インストール中に、ウィンドウが何度も開く場合がありますが、ユーザー登録画面が表示されるまで、しばらくおまちください。

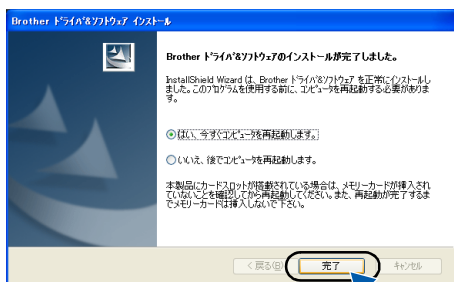
Windows Vista® をお使いの場合、以下の画面が表示されたら、チェックボックスをクリックして［インストール］をクリックし、インストールを完了させてください。

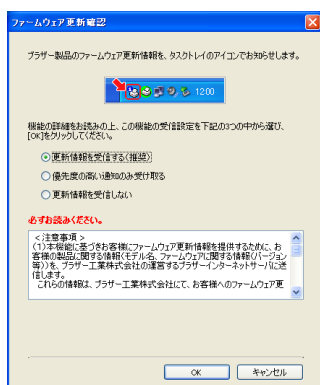
インストールが開始されない場合は、本製品の電源が入っていることを確認してから、本製品側、パソコン側の両方の USB ケーブルを接続し直してください。
それでもインストールが開始されない場合は、［キャンセル］をクリックして修復インストールを行ってください。
⇒ 25 ページ「ドライバがうまくインストールできないときは」

11 ユーザー登録をする

ユーザー登録をする場合は［本ブラザー製品のオンライン登録］をクリックして、ユーザー登録を行います。

あとでユーザー登録をする場合は、このまま手順 12 に進みます。

12 ［次へ］をクリックする

13 ［完了］をクリックする

パソコンが再起動します。
Windows® 2000 Professional/XP/XP Professional x64 Edition/Windows Vista® を使用している場合は、「アドミニストレータ（Administrator）権限」または「管理者権限」でログインしてください。

14 ファームウェアの更新に関する設定をする

以下の画面が表示されたら、内容を確認して、ファームウェア更新機能の設定を行ってください。

インストールが完了しました。

インストールの際にエラーメッセージが表示されたときは、「インストール診断ツール」を使って、正しくインストールできたか確認してください。「インストール診断ツール」は、スタートメニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-6890CN］－［インストール診断ツール］を選ぶと起動します。

ドライバがうまくインストールできないときは

ドライバを手順通りにインストールできなかった場合は、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットして表示される画面から［インストール］－［修復インストール］をクリックし、画面の指示に従って、再度インストールし直してください。

Presto! PageManager がうまくインストールできないときは、一度アンインストールをしてから、再度インストールし直してください。

ドライバをアンインストールするときは

ドライバをアンインストールするときは、スタートメニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-6890CN］－［アンインストール］の順に選択し、画面の表示に従ってください。

ドライバとソフトウェアのインストールは終了しました。引き続き、「FaceFilter Studio をインストールする」へ進みます。

ドライバとソフトウェアをインストールする（Macintosh の場合）

注意

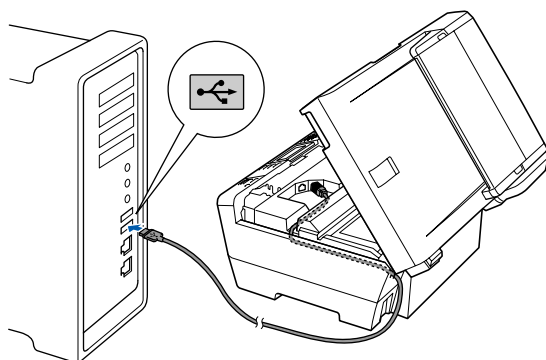
- ■ インストールをする前に、「Step1　設置・接続する」が終わっていることをご確認ください。
- ■ メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが本製品に差し込まれていないことをご確認ください。
- ■ 起動しているアプリケーションがある場合は、終了させてからインストールを始めてください。
- ■ 本製品に USB ケーブルと LAN ケーブルを同時につないでご使用になりたい場合は、手順に従って両方のインストールを行ってください。このとき、LAN ケーブルと USB ケーブルをまとめて積み上げ、本体内部の溝におさめてください。（コア付きの USB ケーブルはご使用になれません。）

1 本製品と Macintosh を USB ケーブルで接続する

(1) 本製品の本体カバーを両手で開く

(2) 「USB」と書かれた USB ケーブル接続端子に USB ケーブルを接続する

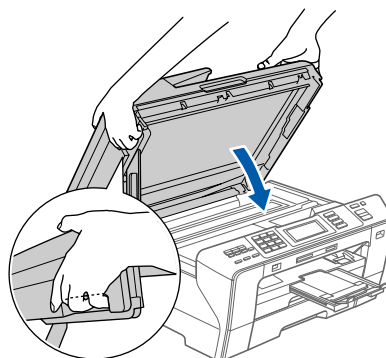
(3) USB ケーブルを本製品の溝におさめ、Macintosh に USB ケーブルを接続する

カバーを閉じる際、ケーブルが邪魔にならないようにします。

注意

- ■ Macintosh と本製品はUSBケーブルで直接接続してください。Macintosh 本体以外の USB ポートや USB ハブなどを経由して接続しないでください。

(4) 本体カバーを閉じる

両方の側面の溝に手をかけて両手で本体カバーを持ち、ゆっくりと閉じてください。

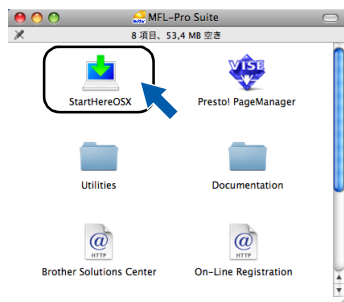
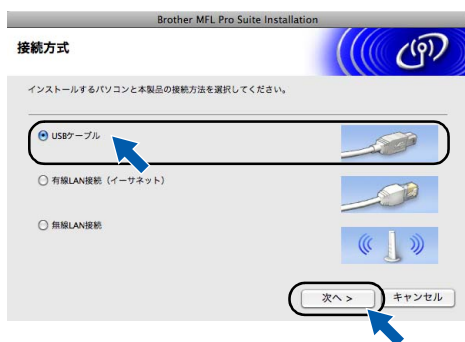
⚠ 注意

- ● 本体カバーを閉じるときは、手をはさまないように注意して、最後まで本体カバーを持って閉じてください。けがの原因となります。
- ● 本体カバーを開閉するときは、必ず側面の溝に手をかけてください。

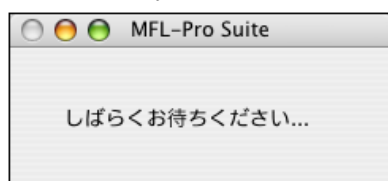
2 Macintosh の電源を入れる

Macintosh の管理者権限を持っているユーザーでログインしてください。

3 付属の CD-ROM を Macintosh の CD-ROM ドライブにセットする

4 「StartHereOSX」をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

5 「USB ケーブル」を選び、［次へ］をクリックする

インストールが終わると、Macintosh の再起動を促す画面が表示されます。画面の指示に従って Macintosh を再起動してください。再起動が終わるまで、しばらくお待ちください。

再起動後、本製品を自動的に検索します。しばらくお待ちください。

6 以下の画面が表示されたら、［OK］をクリックする

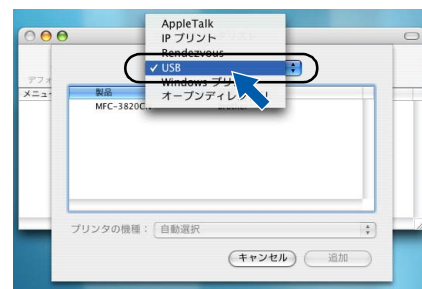
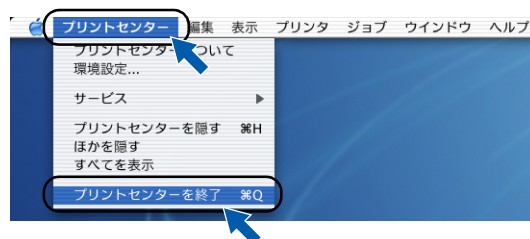
Mac OS X 10.3.x 以降をご利用の場合

ドライバのインストールが終了しました。続けて、Presto! PageManager をインストールする場合は、手順 11 に進みます。

Mac OS X 10.2.4 ～ 10.2.8 をご利用の場合

手順 7 に進みます。

7 ［追加］をクリックする

8 「USB」を選ぶ

9 本製品を選び、［追加］をクリックする

10 「プリントセンター」メニューから「プリントセンターを終了」を選ぶ

ドライバのインストールが終了しました。
続けて、Presto! PageManager をインストールする場合は、手順 11 に進みます。

「Presto! PageManager」をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

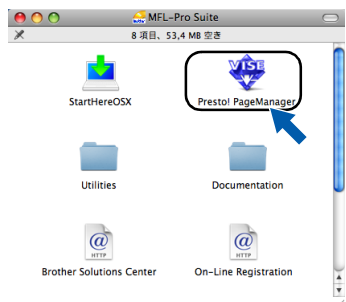
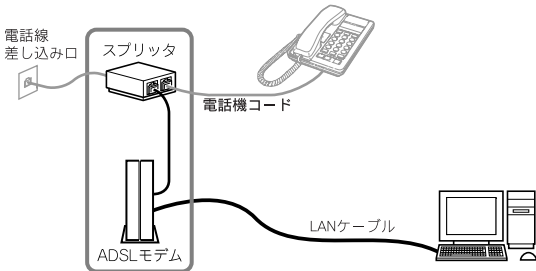
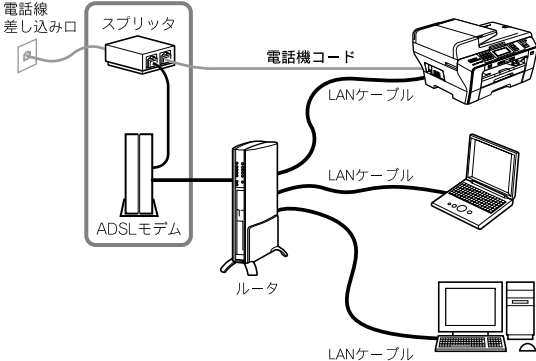
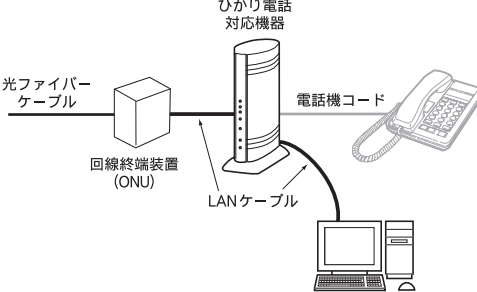
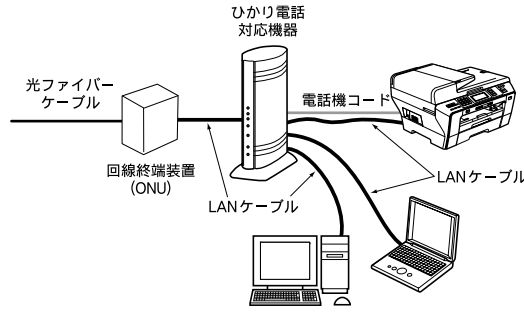
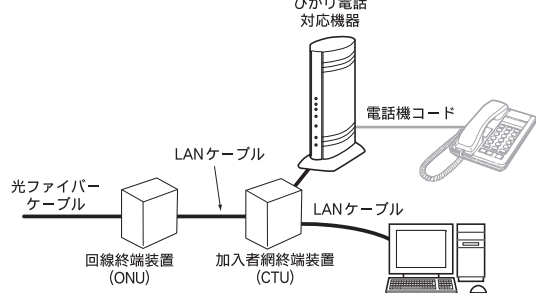
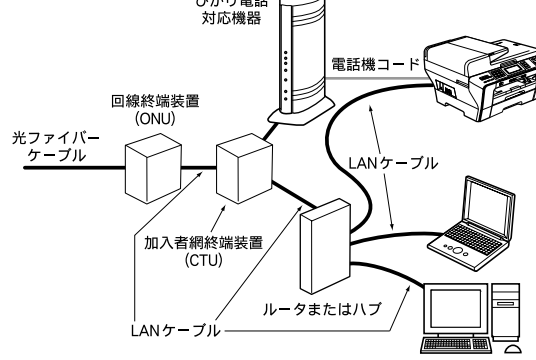
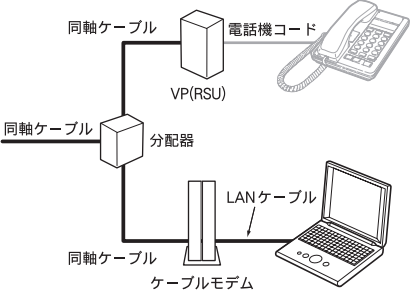
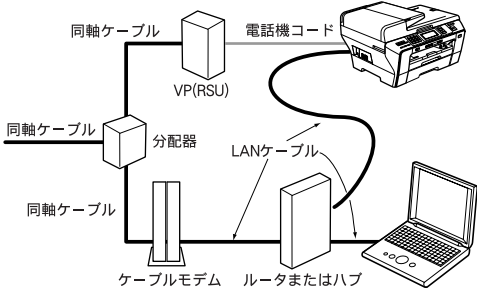
Mac OS X 10.2.4 ～ 10.3.8 をご利用の場合
以下の画面が表示されたら、［GO］をクリックしてブラザーソリューションセンターからソフトウェアをダウンロードしてください。

Brother Solutions Center
Brother Solutions CenterからPresto! PageManagerのインストーラをダウンロードします。
ダウンロードにはインターネット接続が必要です。
キャンセル　Go

Presto! PageManager について

Presto! PageManager をインストールするとControlCenter2 に OCR 機能が追加され、スキャンした文書や画像を管理したり、加工することができます。

オンラインユーザー登録のご案内

オンラインでのユーザー登録をお勧めします。最新のドライバやファームウェアの情報、また各種サポートやキャンペーン情報などを、いちはやくメールでお知らせします。
https://regist.brother.jp/

ドライバとソフトウェアのインストールは終了しました。

有線 LAN 接続

ハブまたはルータを使用して、本製品を LAN ケーブルで接続します。複数のパソコンから本製品をプリンタ、スキャナとして利用できるようになります。

ネットワーク環境（有線 LAN）で複数のパソコンから使用する場合

ADSL や CATV（ケーブルテレビ）、光ファイバーなどのインターネット環境で、複数のパソコンを使用している場合は、本製品を LAN ケーブルで接続すると、どのパソコンからも本製品をプリンタ、スキャナとして利用することができます。

本製品を接続する前	本製品を接続した後
● 一般的な ADSL 環境での接続例	
● 光ファイバー環境での接続例 （NTT 東日本、KDDI ひかり One、Yahoo! BB フォン光など）	
● 光ファイバー環境での接続例 （NTT 西日本）	

※ お使いの機器によっては、ADSL モデムにスプリッタ機能が内蔵されている場合があります。

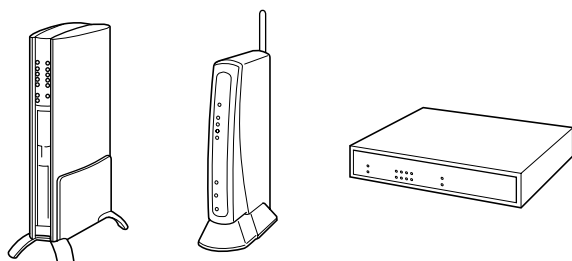
本製品を接続する前	本製品を接続した後
● 一般的な CATV 環境での接続例 （J:COM などのケーブルテレビ局）	

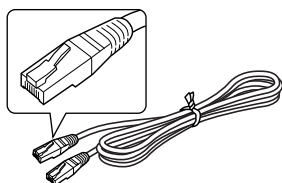
ネットワーク環境で使用する主な機器の説明

- スプリッタ
  電話（音声）信号と ADSL 信号を分離するものです。
- ADSL モデム
  ADSL 信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。
- ONU（回線終端装置）
  光の信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。
- CTU（加入者網終端装置）
  NTT 西日本のひかり回線を終端し、通信に必要な情報を設定する装置です。ルータ、ハブ、パソコン、ひかり電話対応機器などはこの装置に接続します。
- ひかり電話対応機器
  今お使いの電話機（アナログ電話機）や FAX 機を接続する装置です。NTT 東日本、KDDI、SoftBank テレコムなどからレンタルされる機器にはルータ機能が内蔵されています。
- ハブ
  複数のパソコンなどの機器をルータに接続する際に、分配機の役割をします。
- ルータ
  ネットワーク環境で複数のパソコンなどの機器を接続するときに使用します。
- VP（RSU）
  ボイスポートまたはリモートサービスユニットと呼ばれ、ケーブルテレビ局が固定電話サービスを行うための装置です。
- ケーブルモデム
  同軸ケーブルを流れる信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。

ネットワーク接続に必要なものの準備

(1) **ルータ**

ADSL や CATV、光ファイバー（FTTH）などのインターネット網と、家庭・オフィスの LAN（内部ネットワーク）を中継する機器です。複数台のパソコンから同時にインターネットに接続することができるようになります。

(2) **LAN ケーブル**

本製品とルータを接続するのに必要です。カテゴリ 5（100BASE-TX 用）のストレートケーブルをお使いください。

- ルータの導入・接続方法については、お使いのルータの取扱説明書をご覧ください。
- ADSL モデム・回線終端装置などの機器に関するご質問は、提供メーカーにお問い合わせください。

準備ができたら、「ドライバとソフトウェアをインストールする」へ進みます。

Windows® の場合（32 ページ）

Macintosh の場合（36 ページ）

ドライバとソフトウェアをインストールする（Windows® の場合）

注意

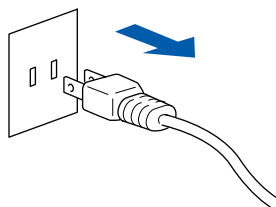
■ インストールの前に、本製品の【有線 / 無線切替え】設定が【有線 LAN】になっていることを確認してください。【有線 / 無線切替え】は、【メニュー】を押し、【ネットワーク】メニューの【有線 / 無線切替え】を選ぶと確認できます。お買い上げ時は、【有線 LAN】に設定されています。

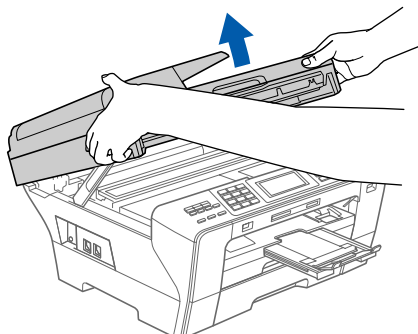
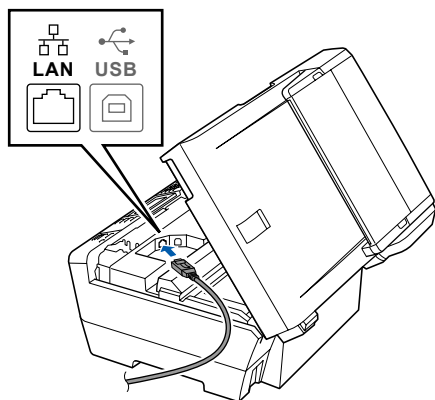
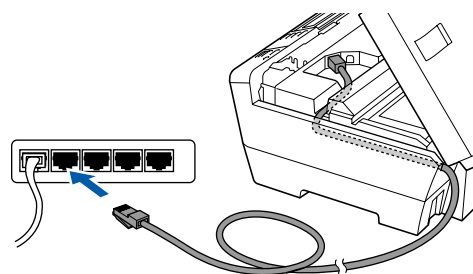
■ 本製品は、有線 LAN と無線 LAN を同時に使用することはできません。同時に接続していても、【有線 / 無線切替え】で設定されている接続が有効になります。

■ 市販のセキュリティソフトをお使いの場合は、インストールが正常に行われない可能性があります。インストールする前に、セキュリティソフトを一時的に停止させておくことをお勧めします。

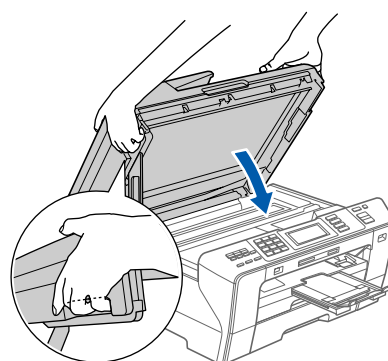
■ 本製品にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが差し込まれていないことを確認してください。

■ 起動しているアプリケーションがある場合は、終了させてからインストールを始めてください。

1 本製品の電源プラグをコンセントから抜く

2 本製品を LAN ケーブルで接続する

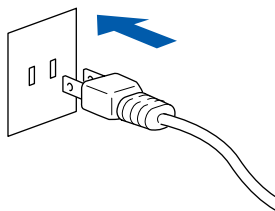
(1) 本製品の本体カバーを両手で開く

(2) 「LAN」と書かれた LAN ケーブル接続端子に LAN ケーブルを接続する

(3) LAN ケーブルを本製品の溝におさめ、ハブまたはルータの LAN ポートに LAN ケーブルを接続する

接続方法については、お使いの接続機器の取扱説明書をご覧ください。接続例は、⇒ 29 ページ「ネットワーク環境（有線 LAN）で複数のパソコンから使用する場合」をご覧ください。

(4) 本体カバーを閉じる

両方の側面の溝に手をかけて両手で本体カバーを持ち、ゆっくりと閉じてください。

⚠ 注意

● 本体カバーを閉じるときは、手をはさまないように注意して、最後まで本体カバーを持って閉じてください。けがの原因となります。

● 本体カバーを開閉するときは、必ず側面の溝に手をかけてください。

3 本製品の電源プラグをコンセントに差し込む

4 パソコンの電源を入れる

Windows® 2000 Professional/XP/XP Professional x64 Edition/Windows Vista® を使用している場合は、「アドミニストレータ（Administrator）権限」または「管理者権限」でログインします。

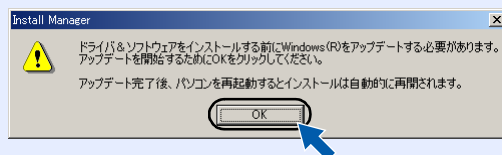
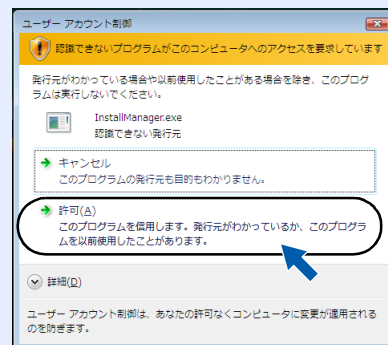
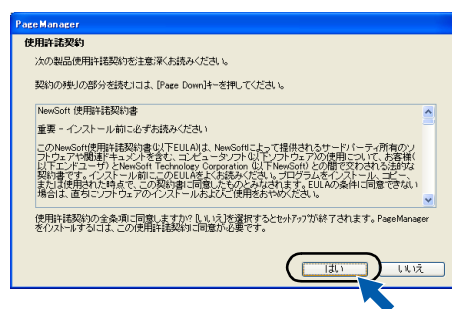
5 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

> 画面が表示されないときは、「マイコンピュータ（コンピュータ）」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

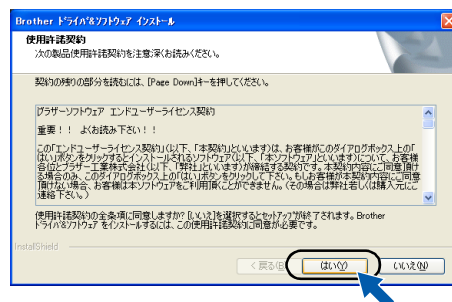
6 「トップメニュー」画面の「インストール」をクリックする

7 「インストール」画面の「インストール」をクリックする

注意

■ 以下の画面が表示されたときは、［OK］をクリックし、Windows® をアップデートしてください。パソコンが再起動すると、自動的にインストールが続行されます。

■ Windows Vista® をお使いの場合、以下の画面が表示されたときは、［許可］をクリックしてください。

8 Presto! PageManager の使用許諾契約の内容を確認して、［はい］をクリックする

Presto! PageManager がインストールされます。

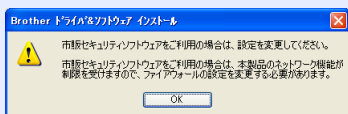
Presto! PageManager のインストールが終わると、続いてドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

9 使用許諾の内容を確認し、［はい］をクリックする

⑩ [有線 LAN 接続] を選び、[次へ] をクリックする

ドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

注意

- インストール中に、ウィンドウが何度も開く場合がありますが、次のユーザー登録画面が表示されるまで、そのまましばらくおまちください。
- Windows® XP ServicePack2 以降 / Windows Vista® をお使いの場合で、以下の画面が表示されたときは、[ファイアウォールの設定を本製品と通信を行えるように変更し、インストールを続行します。(推奨)] をクリックして、[次へ] をクリックしてください。

- Windows® のファイアウォール以外のセキュリティソフトをお使いの場合、または Windows® のファイアウォールが無効の場合、以下の画面が表示されることがあります。

画面で見るマニュアル (HTML 形式) をご覧になり、以下のポートを追加してください。

• ネットワークスキャンをする場合：UDP ポート 54925

• ネットワーク PC-FAX をする場合：UDP ポート 54926

• 上記を追加してもネットワーク接続の問題が解決しない場合：UDP ポート 137

本製品のネットワーク接続の設定が終了している場合は、本製品をリストで選択し、[次へ] をクリックしてください。ネットワーク上の機器が 1 台だけの場合、このウィンドウは表示されず、その機器が自動的に選択されます。

画面の IP アドレス欄に APIPA と表示された場合は、[IP アドレス設定] をクリックし、お使いのネットワーク上での本製品の IP アドレスを入力します。

Windows Vista® をお使いの場合、以下の画面が表示されたら、チェックボックスをクリックして [インストール] をクリックし、インストールを完了させてください。

注意

- 以下の画面が表示されたときは、画面の内容を確認の上、[はい] をクリックして、再度検索を行います。市販のセキュリティソフトをご使用の場合は、一時的にセキュリティ機能を無効にしてからインストールを行ってください。

それでも検索されない場合は、[いいえ] をクリックし、表示される画面の指示に従って、ノード名や IP アドレスなどを設定してください。IP アドレスなどを調べるときは、「ネットワーク設定リスト」を印刷します。
⇒ 52 ページ「ネットワークの設定リストを印刷する」

⓫ ユーザー登録をする

ユーザー登録をする場合は［本ブラザー製品のオンライン登録］をクリックして、ユーザー登録を行います。

あとでユーザー登録をする場合は、このまま手順⓬に進みます。

⓬ ［次へ］をクリックする

⓭ ［完了］をクリックする

パソコンが再起動します。
Windows® 2000 Professional/XP/XP Professional x64 Edition/Windows Vista® を使用している場合は、「アドミニストレータ（Administrator）権限」または「管理者権限」でログインしてください。

⓮ ファームウェアの更新に関する設定をする

以下の画面が表示されたら、内容を確認して、ファームウェア更新機能の設定を行ってください。

インストールが完了しました。

インストールの際にエラーメッセージが表示されたときは、「インストール診断ツール」を使って、正しくインストールできたか確認してください。「インストール診断ツール」は、スタートメニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-6890CN LAN］－［インストール診断ツール］を選ぶと起動します。

お使いの環境によっては、本製品の IP アドレスを指定してインストールを行わないと、いくつかの機能が使用できない場合があります。この場合は、本製品の IP アドレスを指定してインストールし直してください。⇒ユーザーズガイド第 7 章「故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に）」

ドライバをアンインストールするときは

ドライバをアンインストールするときは、スタートメニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-6890CN LAN］－［アンインストール］の順に選択し、画面の表示に従ってください。

ドライバとソフトウェアのインストールは終了しました。引き続き、「FaceFilter Studio をインストールする」へ進みます。

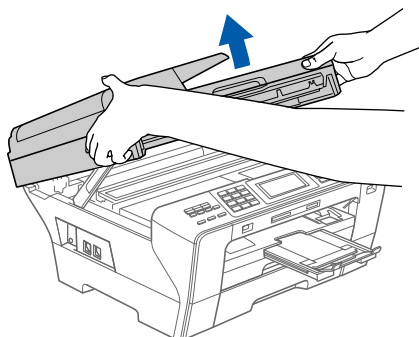
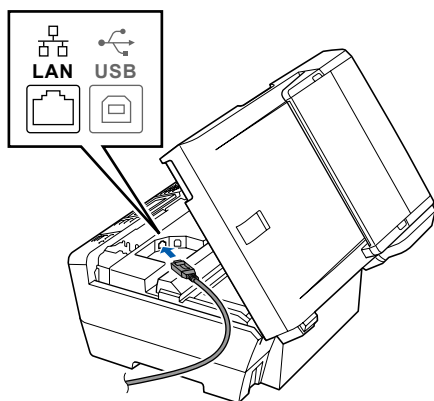
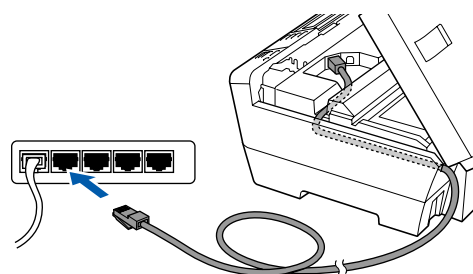
FaceFilter Studio をインストールする（53 ページ）

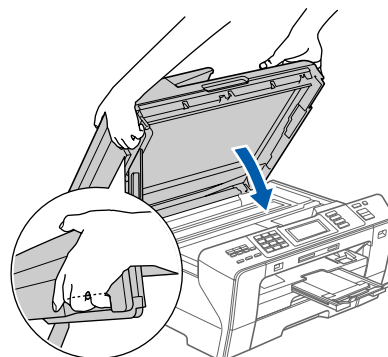
ドライバとソフトウェアをインストールする（Macintosh の場合）

注意

- ■ インストールの前に、本製品の【有線 / 無線切替え】設定が【有線 LAN】になっていることを確認してください。【有線 / 無線切替え】は、【メニュー】を押し、【ネットワーク】メニューの【有線 / 無線切替え】を選ぶと確認できます。お買い上げ時は、【有線 LAN】に設定されています。
- ■ 本製品は、有線 LAN と無線 LAN を同時に使用することはできません。同時に接続していても、【有線 / 無線切替え】で設定されている接続が有効になります。
- ■ 本製品にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが差し込まれていないことを確認してください。
- ■ 起動しているアプリケーションがある場合は、終了させてからインストールを始めてください。

1 本製品と Macintosh を LAN ケーブルで接続する

(1) 本製品の本体カバーを両手で開く

(2)「LAN」と書かれた LAN ケーブル接続端子に LAN ケーブルを接続する

(3) LAN ケーブルを本製品の溝におさめ、ハブまたはルータの LAN ポートに LAN ケーブルを接続する

(4) 本体カバーを閉じる

両方の側面の溝に手をかけて両手で本体カバーを持ち、ゆっくりと閉めてください。

⚠ 注意

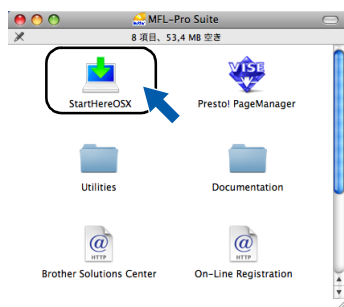
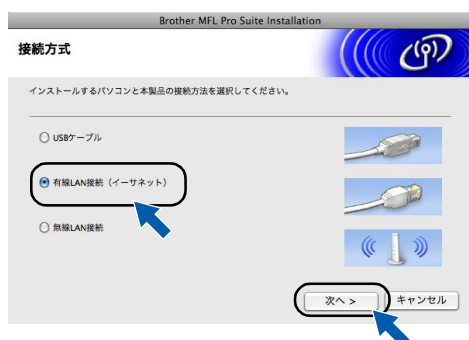
- ● 本体カバーを閉じるときは、手をはさまないように注意して、最後まで本体カバーを持って閉じてください。けがの原因となります。
- ● 本体カバーを開閉するときは、必ず側面の溝に手をかけてください。

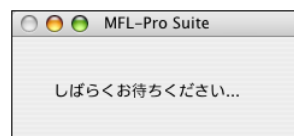
2 Macintosh の電源を入れる

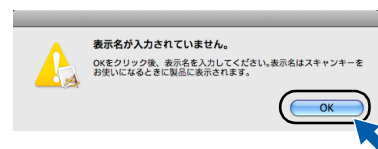
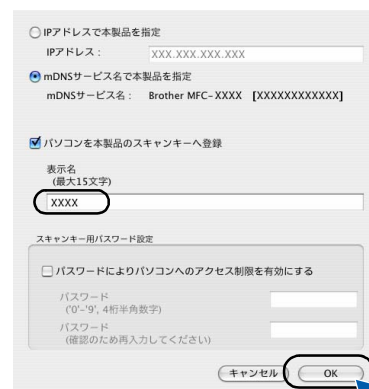
Macintosh の管理者権限を持っているユーザーでログインしてください。

3 付属の CD-ROM を Macintosh の CD-ROM ドライブにセットする

❹ 「StartHereOSX」をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

❺ 「有線 LAN 接続 (イーサネット)」を選び、[次へ] をクリックする

インストールが終わると、Macintosh の再起動を促す画面が表示されます。画面の指示に従って Macintosh を再起動してください。再起動が終わるまで、しばらくお待ちください。

再起動後、本製品を自動的に検索します。しばらくお待ちください。

ネットワーク上に複数の複合機がある場合は、以下の画面が表示されます。本製品を選んで、[OK] をクリックしてください。

以下の画面が表示されたときは、[OK] をクリックして、表示名を入力してください。

表示名は、15 文字以内で入力します。

本製品のスキャンキーを押してネットワークスキャン機能を使う場合は、スキャンデータを受信する Macintosh の名前を登録する必要があります。
[パソコンを本製品のスキャンキーへ登録] をチェックし、[表示名] に Macintosh の名前を入力してください。
[表示名] に入力した名前が、スキャンキーを押したときに本製品の画面に表示されます。
スキャンキー用パスワード設定の詳細については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。
⇒画面で見るマニュアル「スキャナ」

6 以下の画面が表示されたら、[OK] をクリックする

Mac OS X 10.3.x 以降をご利用の場合

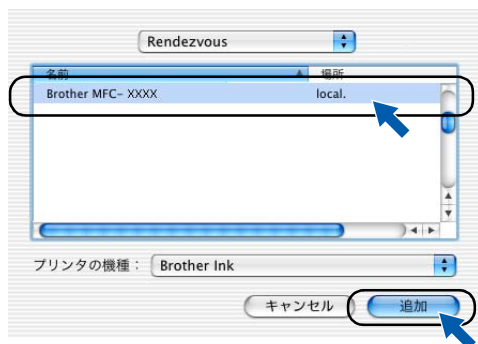
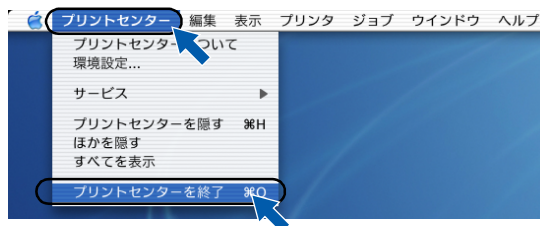
ドライバのインストールが終了しました。続けて、Presto! PageManager をインストールする場合は、手順 11 に進みます。

Mac OS X 10.2.4 ～ 10.2.8 をご利用の場合

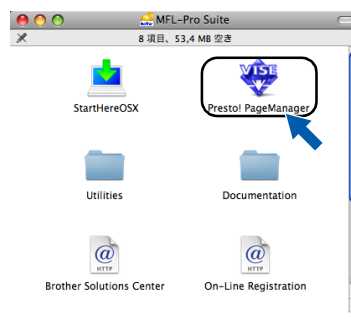
手順 7 に進みます。

7 [追加] をクリックする

8 下の画面のとおり選択する

9 本製品を選び、[追加] をクリックする

10 「プリントセンター」メニューから「プリントセンターを終了」を選ぶ

ドライバのインストールが終了しました。

続けて、Presto! PageManager をインストールする場合は、手順 11 に進みます。

11 「Presto! PageManager」をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

Mac OS X 10.2.4 ～ 10.3.8 をご利用の場合

以下の画面が表示されたら、[GO] をクリックしてブラザーソリューションセンターからソフトウェアをダウンロードしてください。

Brother Solutions Center

Brother Solutions CenterからPresto! PageManagerのインストーラをダウンロードします。
ダウンロードにはインターネット接続が必要です。

キャンセル Go

Presto! PageManager について

Presto! PageManager をインストールすると ControlCenter2 に OCR 機能が追加され、スキャンした文書や画像を管理したり、加工することができます。

オンラインユーザー登録のご案内

オンラインでのユーザー登録をお勧めします。最新のドライバやファームウェアの情報、また各種サポートやキャンペーン情報などを、いちはやくメールでお知らせします。
https://regist.brother.jp/

ドライバとソフトウェアのインストールは終了しました。

無線 LAN 接続

無線 LAN 環境を確認する

本製品を無線 LAN 対応の無線 LAN アクセスポイントや無線 LAN 対応のパソコンと、無線で接続します。お使いのネットワーク上で、本製品をプリンタ、スキャナとして利用できるようになります。

無線 LAN 環境で使用する場合の注意点

● 設置に関する注意

- 本製品の近くに、微弱な電波を発する電気製品（特に電子レンジやデジタルコードレス電話）を置かないでください。
- 本製品と無線 LAN アクセスポイントの間に、金属、アルミサッシ、鉄筋コンクリート壁があると、接続しにくくなる場合があります。

● 通信に関する注意

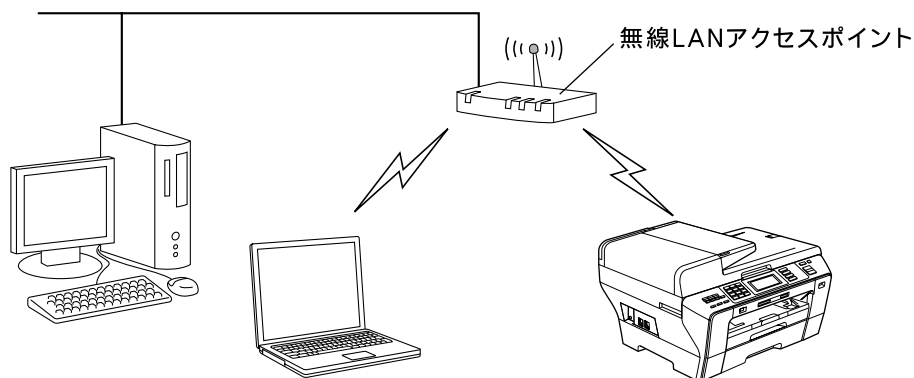
- 環境によっては、有線 LAN 接続や USB 接続と比べて、通信速度が劣る場合があります。写真などの大きなデータを印刷する場合は、有線 LAN または USB 接続で印刷することをおすすめします。

注意

■ 本製品は、有線 LAN と無線 LAN を同時に使用することはできません。
■ USB ケーブルや LAN ケーブルが接続されている場合は、ケーブルを本製品から外してください。

無線 LAN の接続方法

● インフラストラクチャモード

インフラストラクチャモードでは、ネットワークの中心に無線 LAN アクセスポイントが設置され、無線 LAN アクセスポイントを通じて無線 LAN にアクセスできるようになっています。

本書では、インフラストラクチャモードの無線 LAN 環境の場合の接続方法について説明しています。アドホックモード（無線 LAN アクセスポイントを経由せずに使うモード）で無線 LAN をお使いの場合は、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）をご覧ください。

無線 LAN 設定に必要な情報を確認する

本製品は、次の 1 ～ 3 のうちいずれかで無線 LAN の 設定ができます。

1 WPS 機能を使って無線 LAN の自動設定を行う

以下の条件を満たす場合、本製品と無線 LAN アクセスポイント（ルータなど）の接続・設定をかんたんに行うことができます。

ご使用の無線 LAN アクセスポイント（ルータなど）が WPS に対応している	
すでに無線ネットワークをお使いで、セキュリティを WPS で設定している	

注意

- ■ わからない場合は、お使いの無線 LAN アクセスポイントのメーカーにお問い合せください。WPS で設定しない場合は、操作パネルから手動設定します。この場合、ネットワークに関する情報が必要です。
⇒ 41 ページ「操作パネルから無線 LAN の手動設定を行う」
- ■ PIN 方式を使用したい場合は、画面で見るマニュアル「WPS の PIN 方式を使用する」をご覧ください。

確認できたら、引き続き、⇒ 42 ページ「WPS/AOSS™機能を使って無線LANの自動設定を行う」へ進み、本製品で設定を行います。

2 AOSS™機能を使って無線LANの自動設定を行う

以下の条件を満たす場合、本製品と無線 LAN アクセスポイント（ルータなど）の接続・設定をかんたんに行うことができます。

ご使用の無線 LAN アクセスポイント（ルータなど）が AOSS™ に対応している ※ 無線 LAN アクセスポイントに右のロゴマークが付いているかを確認してください。	
すでに無線ネットワークをお使いで、セキュリティを AOSS™ で設定している	

注意

- ■ わからない場合は、お使いの無線 LAN アクセスポイントのメーカーにお問い合せください。一般的には、無線 LAN アクセスポイントの AOSS™ ランプ点灯などで確認できます。AOSS™ で設定しない場合は、操作パネルから手動設定します。この場合、ネットワークに関する情報が必要です。
⇒ 41 ページ「操作パネルから無線 LAN の手動設定を行う」

確認できたら、引き続き、⇒ 42 ページ「WPS/AOSS™機能を使って無線LANの自動設定を行う」へ進み、本製品で設定を行います。

3 操作パネルから無線 LAN の手動設定を行う

手動設定を行うには、お使いの無線ネットワークの情報が必要になります。まず、無線 LAN アクセスポイント（ルータなど）の設定を確認し、下記の情報を書き留めてください。書き留めた情報を⇒ 42 ページ「操作パネルから無線 LAN の手動設定を行う」で使用します。

注意

- 書き留めないで次のステップに進んでも、無線 LAN に接続できません。必ず情報を確認してください。
- ネットワークの情報は本製品からは調べることができません。お使いの無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。それでもわからない場合は、お使いの無線 LAN アクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。

❶ 無線ネットワークの名前を調べる

調べたら、太枠部分に記入してください。

SSID（ESSID）	

❷ 無線 LAN のセキュリティ方式とパスワードを調べる

(1) セキュリティなしの場合

設定は、以下になります。特に確認の必要はありません。

(A)	認証方式	オープンシステム認証
	暗号化キー	なし

(2) 「WEP」の場合

認証方式（『オープンシステム認証』または『共有キー認証』）を調べ、パスワード（WEP キー）を太枠部分に記入します。
WEP キーの長さは、5/10/13/26 文字のいずれかです。

(B)	認証方式	オープンシステム認証
	WEP キー	

または

(C)	認証方式	共有キー認証
	WEP キー	

(3) 「WPA-PSK（TKIP ／ AES）」の場合

パスワード（暗号化キー）を調べ、太枠部分に記入します。
暗号化キーは、大文字 / 小文字や「0（ゼロ）」／「O（オー）」などに気をつけて、正確に確認してください。

(D)	認証方式	WPA-PSK
	暗号化キー	
	暗号化方法	TKIP ／ AES

(4) 「WPA2-PSK（AES）」の場合

パスワード（暗号化キー）を調べます。
暗号化キーは、大文字 / 小文字や「0（ゼロ）」／「O（オー）」などに気をつけて、正確に確認してください。

(E)	認証方式	WPA2-PSK
	暗号化キー	
	暗号化方法	AES

アクセス制限セキュリティがかかっているか調べる

無線 LAN アクセスポイント（ルータなど）によっては、「登録した機器しか通信させない」という、アクセス制限のセキュリティがかかっていることがあります。その場合、本製品の情報をあらかじめ無線 LAN アクセスポイントに登録して、本製品からのアクセスを許可させる必要があります。登録のため、本製品の MAC アドレス（機械固有の番号）が必要になったときは、ネットワーク設定リストを印刷して、「Ethernet Address（イーサネットアドレス）」の行を確認してください。
⇒ 52 ページ「ネットワークの設定リストを印刷する」

❶SSID と ❷ で無線 LAN の環境を確認し、その情報を書き留めたら、引き続き、⇒ 42 ページ「操作パネルから無線 LAN の手動設定を行う」へ進み、本製品で設定を行います。

WPS/AOSS™機能を使って無線LANの自動設定を行う（40 ページで 1 または 2 を選んだ場合）

1 本製品の電源プラグをコンセントに差し込む

2 本製品の【メニュー】を押す

3 【ネットワーク】を押す

4 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【有線 / 無線切替え】を押す

5 【無線 LAN】を押す

有線 LAN 接続されていても、【無線 LAN】に切り替えた時点で、有線 LAN は使用できなくなります。

6 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【無線 LAN】を押す

7 【WPS/AOSS】を押す

8 無線 LAN アクセスポイントの WPS または AOSS™ ボタンを数秒間押す

詳しい設定方法は、お使いの 無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
WPS または AOSS™ 機能を使って、自動接続が開始されます。

- 【接続に失敗しました】と表示された場合は、もう一度上記の手順をお試しください。
- 設定がうまくいかない場合は、一時的に本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を 1m 程度に近づけてください。
- 無線電波の強さは、待ち受け画面の右上の表示（. ᯤ ᯤ ᯤ）で確認できます。

画面に【接続しました】と表示されます。

9 ✕ を押す

無線 LAN の設定は終了しました。引き続き、「ドライバとソフトウェアをインストールする」へ進みます。

Windows® の場合（44 ページ）

Macintosh の場合（48 ページ）

操作パネルから無線 LAN の手動設定を行う（41 ページで 3 を選んだ場合）

1 本製品の電源プラグをコンセントに差し込む

2 本製品の【メニュー】を押す

3 【ネットワーク】を押す

4 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【有線 / 無線切替え】を押す

5 【無線 LAN】を押す

有線 LAN 接続されていても、【無線 LAN】に切り替えた時点で、有線 LAN は使用できなくなります。

6 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【無線 LAN】を押す

7 【無線接続ウィザード】を押す

無線接続ウィザードが起動します。
本製品から接続できる無線ネットワークが検索されます。

8 本製品と接続する無線 LAN アクセスポイントを選ぶ

41 ページの 1 で書き留めた SSID を選びます。

注意

■ 無線 LAN アクセスポイントのステルス（SSID の隠ぺい）機能を使用しているときは、本製品を自動的に見つけることができません。無線 LAN アクセスポイントの SSID を本製品の操作パネルから入力してください。

9 認証方法と暗号化方式を設定する

41 ページの 2 で書き留めた (A) ～ (E) いずれかの項目を設定します。

(A) オープンシステム認証で暗号化なしの場合

(1) 【オープンシステム認証】を選ぶ

(2) 【なし】を選ぶ

◆【設定を適用しますか ?】と表示されます。

(3) 【はい】を押す

(B) オープンシステム認証で暗号化方式が WEP の場合

(1) 【オープンシステム認証】を選ぶ

(2) 【WEP】を選ぶ

(3) 使用する WEP キーを選ぶ

(4) 41 ページで書き留めた WEP キーを入力し、

OK を押す

⇒ユーザーズガイド付録「文字の入れかた」

◆【設定を適用しますか ?】と表示されます。

(5) 【はい】を押す

(C)共有キー認証で暗号化方式がWEPの場合

(1) 【共有キー認証】を選ぶ

(2) 使用する WEP キーを選ぶ

(3) 41 ページで書き留めた WEP キーを入力し、

OK を押す

⇒ユーザーズガイド付録「文字の入れかた」

◆【設定を適用しますか ?】と表示されます。

(4) 【はい】を押す

(D) (E) 共有キー認証(WPA/WPA2-PSK)で暗号化方式が TKIP または AES の場合

(1) 【WPA/WPA2-PSK】を選ぶ

(2) 【TKIP】または【AES】を選ぶ

(3) 41 ページで書き留めた暗号化キーを入力し、

OK を押す

⇒ユーザーズガイド付録「文字の入れかた」

◆【設定を適用しますか ?】と表示されます。

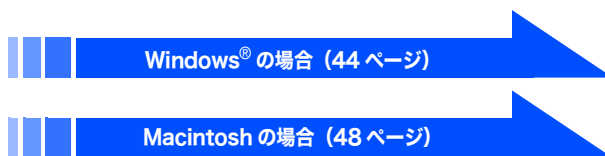
(4) 【はい】を押す

10 正常に接続できたか確認する

画面に【接続しました】と表示されます。

> 接続できなかった場合は、入力した内容に間違いがあった可能性があります。本製品の電源プラグをコンセントから抜き、もう一度差し込んでください。差し込んだ後はしばらくお待ちください。その後、手順 1 ～ 10 をもう一度お試しください。その際、大文字／小文字を正確に入力してください。

11 停止/終了 を押す

無線 LAN の設定は終了しました。引き続き、「ドライバとソフトウェアをインストールする」へ進みます。

> お使いの無線 LAN アクセスポイントが DHCP を使用していない場合は、手動で設定を行う必要があります。
> ⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク設定」

ドライバとソフトウェアをインストールする（Windows® の場合）

注意

- 市販のセキュリティソフトをお使いの場合は、インストールが正常に行われない可能性があります。インストールする前に、セキュリティソフトを一時的に停止させておくことをお勧めします。
- 本製品にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが差し込まれていないことを確認してください。
- USB ケーブルや LAN ケーブルが接続されている場合は、ケーブルを本製品から外してください。
- 起動しているアプリケーションがある場合は、終了させてからインストールを始めてください。

本製品は、有線 LAN 用、無線 LAN 用の 2 つの MAC アドレス（イーサネットアドレス）を持っています。無線 LAN 接続用の MAC アドレスを調べるときは、本製品のネットワークインターフェースを【無線 LAN】に切り替えてから、「ネットワーク設定リスト」を印刷してください。
⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク設定」－「有線 LAN の設定をする」－「有線／無線切替え」

1 本製品で無線 LAN の設定をする

⇒40ページ「無線LAN設定に必要な情報を確認する」

2 パソコンの電源が入っているか確認する

Windows® 2000 Professional/XP/
XP Professional x64 Edition/Windows Vista® を使用している場合は、「アドミニストレータ（Administrator）権限」または「管理者権限」でログインします。

3 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

画面が表示されないときは、「マイコンピュータ（コンピュータ）」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

4 「トップメニュー」画面の「インストール」をクリックする

5 「インストール」画面の「インストール」をクリックする

注意

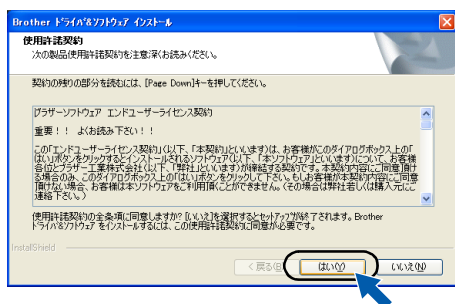
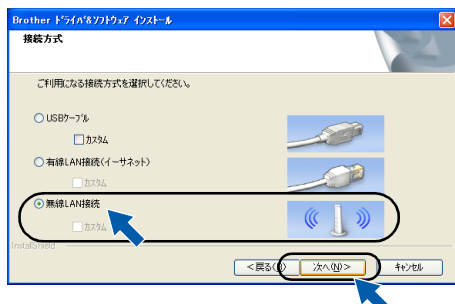
- 以下の画面が表示されたときは、［OK］をクリックし、Windows® をアップデートしてください。パソコンが再起動すると、自動的にインストールが続行されます。

- Windows Vista® をお使いの場合、以下の画面が表示されたときは、［許可］をクリックしてください。

6 Presto! PageManager の使用許諾契約の内容を確認して、［はい］をクリックする

Presto! PageManager がインストールされます。

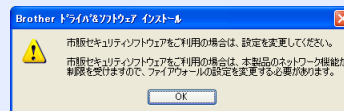
Presto! PageManager のインストールが終わると、続いてドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

7 使用許諾の内容を確認し、［はい］をクリックする

8 ［無線 LAN 接続］を選び、［次へ］をクリックする

9 ［確認しました。］をチェックして、［次へ］をクリックする

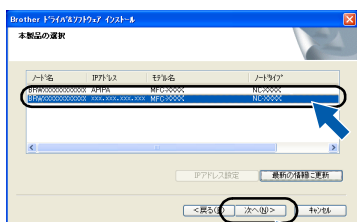
ドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

注意

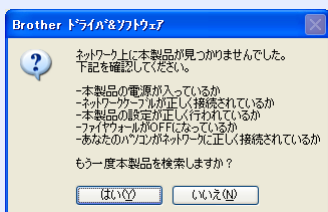
- インストール中に、ウィンドウが何度も開く場合がありますが、次のユーザー登録画面が表示されるまで、そのまましばらくおまちください。
- Windows® XP ServicePack2 以降 / Windows Vista® をお使いの場合で、以下の画面が表示されたときは、「ファイアウォールの設定を本製品と通信を行えるように変更し、インストールを続行します。（推奨）」をクリックして、［次へ］をクリックしてください。

- Windows® のファイアウォール以外のセキュリティソフトをお使いの場合、または Windows® のファイアウォールが無効の場合、以下の画面が表示されることがあります。

画面で見るマニュアル (HTML 形式) をご覧になり、以下のポートを追加してください。

- ネットワークスキャンをする場合：UDP ポート 54925
- ネットワーク PC-FAX をする場合：UDP ポート 54926
- 上記を追加してもネットワーク接続の問題が解決しない場合：UDP ポート 137

本製品のネットワーク接続の設定が終了している場合は、本製品をリストで選択し、[次へ] をクリックしてください。ネットワーク上の機器が 1 台だけの場合、このウィンドウは表示されず、その機器が自動的に選択されます。

画面の IP アドレス欄に APIPA と表示された場合は、[IP アドレス設定] をクリックし、お使いのネットワーク上での本製品の IP アドレスを入力します。IP アドレスなどを調べるときは、「ネットワーク設定リスト」を印刷します。
⇒ 52 ページ「ネットワークの設定リストを印刷する」

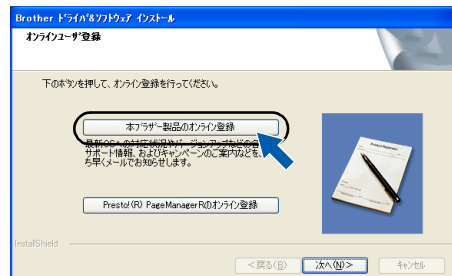
注意

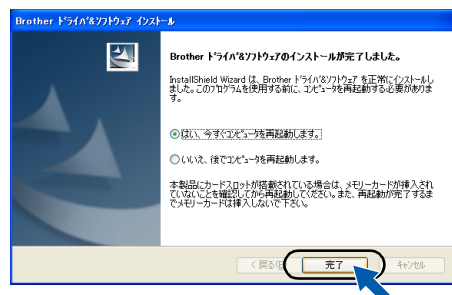
- 以下の画面が表示されたときは、画面の内容を確認の上、[はい] をクリックして、再度検索を行います。市販のセキュリティソフトをご使用の場合は、一時的にセキュリティ機能を無効にしてからインストールを行ってください。

それでも検索されない場合は、[いいえ] をクリックし、表示される画面の指示に従って、ノード名や IP アドレスなどを設定してください。IP アドレスなどを調べるときは、「ネットワーク設定リスト」を印刷します。
⇒ 52 ページ「ネットワーク設定を初期化する」

- 無線 LAN 接続設定が失敗した場合、MFL-Pro Suite のインストール途中で上記エラーメッセージが表示され、インストールが終了します。この場合は、もう一度無線 LAN の設定を行ってください。
⇒ 42 ページ「操作パネルから無線 LAN の手動設定を行う」
- 暗号化方式が WEP の場合で、上記の画面が表示されるときは、WEP キーが正しく入力されているかを再度確認してください。入力の際は、大文字／小文字を正確に入力してください。

Windows Vista® をお使いの場合、以下の画面が表示されたら、チェックボックスをクリックして [インストール] をクリックし、インストールを完了させてください。

10 ユーザー登録をする

ユーザー登録をする場合は [本ブラザー製品のオンライン登録] をクリックして、ユーザー登録を行います。
あとでユーザー登録をする場合は、このまま手順 11 に進みます。

11 [次へ] をクリックする

12 [完了] をクリックする

パソコンが再起動します。
Windows® 2000 Professional/XP/XP Professional x64 Edition/Windows Vista® を使用している場合は、「アドミニストレータ（Administrator）権限」または「管理者権限」でログインしてください。

13 ファームウェアの更新に関する設定をする

以下の画面が表示されたら、内容を確認して、ファームウェア更新機能の設定を行ってください。

インストールが完了しました。

インストールの際にエラーメッセージが表示されたときは、「インストール診断ツール」を使って、正しくインストールできたか確認してください。「インストール診断ツール」は、スタートメニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-6890CN LAN］－［インストール診断ツール］を選ぶと起動します。

お使いの環境によっては、本製品の IP アドレスを指定してインストールを行わないと、いくつかの機能が使用できない場合があります。この場合は、本製品の IP アドレスを指定してインストールし直してください。⇒ユーザーズガイド第 7 章「故障かな？と思ったときは (修理を依頼される前に)」

ドライバをアンインストールするときは

ドライバをアンインストールするときは、スタートメニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-6890CN LAN］－［アンインストール］の順に選択し、画面の表示に従ってください。

ドライバとソフトウェアのインストールは終了しました。引き続き、「FaceFilter Studio をインストールする」へ進みます。

FaceFilter Studio をインストールする（53 ページ）

ドライバとソフトウェアをインストールする（Macintosh の場合）

注意

- 本製品にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが差し込まれていないことを確認してください。
- USB ケーブルが接続されている場合は、USB ケーブルを本製品から抜いてください。
- 起動しているアプリケーションがある場合は、終了させてからインストールを始めてください。

本製品は、有線 LAN 用、無線 LAN 用の 2 つの MAC アドレス（イーサネットアドレス）を持っています。無線 LAN 接続用の MAC アドレスを調べるときは、本製品のネットワークインターフェースを【無線 LAN】に切り替えてから、「ネットワーク設定リスト」を印刷してください。
⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク設定」－「有線 LAN の設定をする」－「有線／無線切替え」

1 本製品で無線 LAN の設定をする

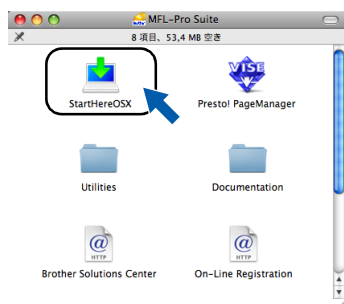
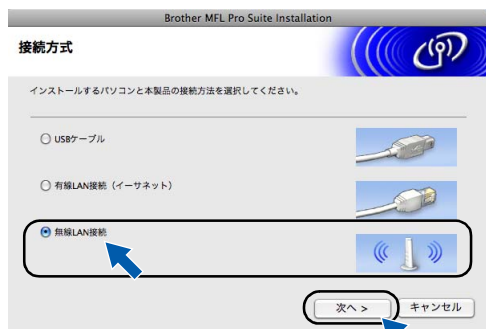
⇒40ページ「無線LAN設定に必要な情報を確認する」

2 Macintosh の電源が入っているか確認する

Macintosh の管理者権限を持っているユーザーでログインしてください。

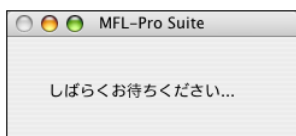
3 付属の CD-ROM を Macintosh の CD-ROM ドライブにセットする

4 「StartHereOSX」をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

5 ［無線 LAN 接続］を選び、［次へ］をクリックする

6 ［確認しました。］をチェックして、［次へ］をクリックする

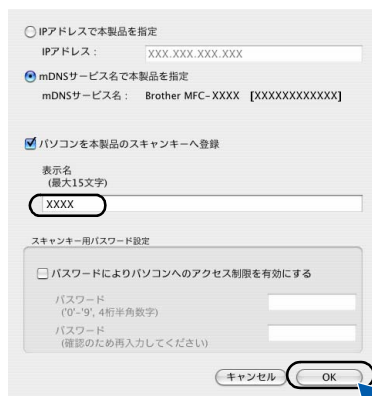
インストールが終わると、Macintosh の再起動を促す画面が表示されます。画面の指示に従って Macintosh を再起動してください。再起動が終わるまで、しばらくお待ちください。

再起動後、本製品を自動的に検索します。しばらくお待ちください。

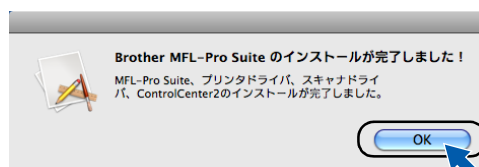
MFL-Pro Suite
しばらくお待ちください...

ネットワーク上に複数の複合機がある場合は、以下の画面が表示されます。本製品を選んで、［OK］をクリックしてください。

上記の画面上に本製品が見つからない場合は、もう一度無線 LAN の設定を行ってください。
⇒ 42 ページ「操作パネルから無線 LAN の手動設定を行う」
現在のネットワーク設定は、ネットワーク設定リストで確認できます。
⇒ 52 ページ「ネットワークの設定リストを印刷する」

暗号化方式が WEP の場合で、本製品が見つからないときは、WEP キーが正しく入力されているかを再度確認してください。入力の際は、大文字／小文字を正確に入力してください。

以下の画面が表示されたときは、［OK］をクリックして、表示名を入力してください。

表示名は、15 文字以内で入力します。

本製品のスキャンキーを押してネットワークスキャン機能を使う場合は、スキャンデータを受信する Macintosh の名前を登録する必要があります。
［パソコンを本製品のスキャンキーへ登録］をチェックし、［表示名］に Macintosh の名前を入力してください。
［表示名］に入力した名前が、スキャンキーを押したときに本製品の画面に表示されます。
スキャンキー用パスワード設定の詳細については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。
⇒画面で見るマニュアル「スキャナ」

7 以下の画面が表示されたら、［OK］をクリックする

Mac OS X 10.3.x 以降をご利用の場合

ドライバのインストールが終了しました。続けて、Presto! PageManager をインストールする場合は、手順 12 に進みます。

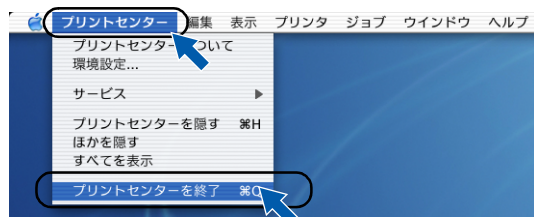
Mac OS X 10.2.4 ～ 10.2.8 をご利用の場合

手順 8 に進みます。

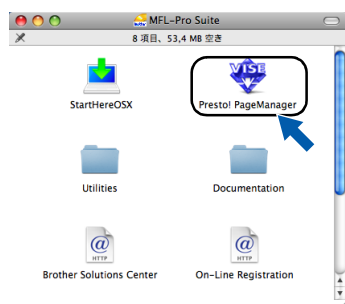
8 ［追加］をクリックする

9 下の画面のとおり選択する

10 本製品を選び、［追加］をクリックする

11 「プリントセンター」メニューから「プリントセンターを終了」を選ぶ

ドライバのインストールが終了しました。

続けて、Presto! PageManager をインストールする場合は、手順 12 に進みます。

12 「Presto! PageManager」をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

Mac OS X 10.2.4 ～ 10.3.8 をご利用の場合
以下の画面が表示されたら、 [GO] をクリックしてブラザーソリューションセンターからソフトウェアをダウンロードしてください。

Presto! PageManager について

Presto! PageManager をインストールすると ControlCenter2 に OCR 機能が追加され、スキャンした文書や画像を管理したり、加工することができます。

オンラインユーザー登録のご案内

オンラインでのユーザー登録をお勧めします。最新のドライバやファームウェアの情報、また各種サポートやキャンペーン情報などを、いちはやくメールでお知らせします。
https://regist.brother.jp/

ドライバとソフトウェアのインストールは終了しました。

ネットワークユーティリティ

BRAdmin Light を使用する

BRAdmin Light は、ネットワークプリンタなど、ネットワーク環境に接続された装置の管理を行うソフトウェアです。

> BRAdmin Light のインストール後、起動時にパスワードを入力する必要があります。お買い上げ時のパスワードは「access」に設定されています。

Windows® の場合

Windows® の場合は、あらかじめ BRAdmin Light をインストールする必要があります。インストール後は、SNMP（簡易ネットワーク管理プロトコル）に対応している製品であれば、他社製品の管理も一括して行えます。

1 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

トップメニューが表示されます。

> 画面が表示されないときは、「マイコンピュータ（コンピュータ）」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

2 「トップメニュー」画面の［ネットワークユーティリティ］をクリックする

3 ［BRAdmin Light］をクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

> Windows® で「インターネット接続ファイアウォール」が有効に設定されている場合は、BRAdmin Light を利用できません。ご利用される場合は、ファイアウォールの機能を無効にしてください。

ネットワークの設定方法について

BRAdmin Light を使ってネットワークを設定する方法については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。
⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク設定」

Macintosh の場合

Macintosh の場合は、ドライバをインストールすると、BRAdmin Light も自動的にインストールされます。

本製品の IP アドレスは、ネットワーク上の DHCP サーバーによって自動で設定されるのが通常ですが、自動で設定されない場合は、以下の手順に従って BRAdmin Light で設定してください。

詳しくは、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。
⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク設定」

1 デスクトップ上の［Macintosh HD］から、［ライブラリ］-［Printers］-［Brother］-［Utilities］-［BRAdmin Light.jar］を選ぶ

BRAdmin Light が起動し、自動的に新しいデバイスを検索します。

2 本製品をダブルクリックする

3 ［IP アドレス］［サブネットマスク］［ゲートウェイ］を入力し、［OK］をクリックする

IP アドレスなどの情報が、本機に保存されます。

ネットワーク設定を初期化する

ネットワークの設定に失敗した場合や、再度インストールし直す場合は、下記の手順で本製品のネットワーク設定を初期化してから、再度ネットワークの設定を行ってください。

1. **【メニュー】を押す**
2. **【ネットワーク】を押す**
3. **▼/▲ を押して画面をスクロールさせ、【ネットワーク設定リセット】を押す**
4. **【はい】を押す**
5. **【はい】を 2 秒以上押す**

   数秒後に本製品が再起動します。再起動が終わるまで、しばらくお待ちください。

ネットワークの設定リストを印刷する

使用するネットワークインターフェースを切り替えてから、ネットワーク設定リストを印刷してください。お買い上げ時は【有線 LAN】に設定されています。

⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク設定」－「有線 LAN の設定をする」－「有線／無線切替え」

1. **【メニュー】を押す**
2. **▼/▲ を押して画面をスクロールさせ、【レポート印刷】を押す**
3. **▼/▲ を押して画面をスクロールさせ、【ネットワーク設定リスト】を押す**
4. **スタート モノクロ を押す**

その他のソフトウェアをインストールする

管理者権限を持っているユーザーでログインしてください。

FaceFilter Studio をインストールする

FaceFilter Studio は、簡単に写真をふちなし印刷できる Reallusion, Inc のソフトウェアです。赤目を修正したり、明るさを自動調整することができます。

注意

- FaceFilter Studio を初めて起動する前に、次のことを確認してください。
  - ・ドライバやソフトウェアのインストールが完了していること。
  - ・本製品の電源が入っていること。
  - ・本製品とパソコンが接続されていること。

1 「マイコンピュータ」（コンピュータ）から CD-ROM ドライブをダブルクリックする

トップメニューが表示されます。

画面が表示されないときは、CD-ROM ドライブをダブルクリックしたあと、「start.exe」をダブルクリックしてください。

2 「トップメニュー」画面の［その他ソフトウェア］をクリックする

3 ［FaceFilter Studio］をクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

FaceFilter Studio のインストールが終了しました。

FaceFilter Studio の使い方について

FaceFilter Studio を使ってふちなし印刷などをする方法については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。
⇒画面で見るマニュアル「プリンタ」

FaceFilter Studio がうまくインストールできないときは、一度アンインストールをしてから、再度インストールし直してください。

BookScan&Whiteboard Suiteをインストールする

BookScan&Whiteboard Suite は、以下の 2 つの機能を持った Reallusion, Inc のソフトウェアです。

- スキャン画像の補正
  スキャンした本の画像の影や傾きを自動補正します。
- ホワイトボードの画像化
  デジタルカメラで撮影されたホワイトボードの画像を自動補正します。

注意

- ■ このソフトウェアは、インストールの際にインターネットへの接続が必要です。
- ■ 本製品の電源を入れ、パソコンに接続した状態でインストールを行ってください。また、パソコンがインターネットに接続できることを確認してください。

1 「マイコンピュータ（コンピュータ）」から CD-ROM ドライブをダブルクリックする

トップメニューが表示されます。

画面が表示されないときは、CD-ROM ドライブをダブルクリックしたあと、「start.exe」をダブルクリックしてください。

2 「トップメニュー」画面の［その他ソフトウェア］をクリックする

3 [BookScan&Whiteboard Suite］をクリックする

画面の指示に従ってインストールを進めてください。

BookScan&Whiteboard Suite のインストールが終了しました。

困ったときは（トラブル対処方法）

ネットワークに関するトラブルが発生したときの対応方法について説明しています。
該当する問題のページをご覧ください。

無線 LAN アクセスポイントに接続できない

以下を確認してください。

- **無線 LAN アクセスポイントと本製品が離れ過ぎていませんか？間に障害物がありませんか？**

  本製品を見通しの良い場所へ移動させたり、できるだけ無線 LAN アクセスポイントに近づけてください。

  また、セットアップ時は 1m 以内に近づけてお試しください。
- **近くに無線 LAN に影響を及ぼすものはありませんか？**

  本製品の近くに、他の無線 LAN アクセスポイントやパソコン、Bluetooth® 対応機器、電子レンジ、デジタルコードレス電話がある場合は離してください。

以下の場合は、お使いのブロードバンドルータなどのメーカーにお問い合わせください。

- **無線 LAN アクセスポイントが正常に動作していますか？**

  無線 LAN を内蔵したパソコンでインターネットに接続できるかお試しください。

  接続できない場合は、無線 LAN アクセスポイントが正常に動作していない可能性があります。
- **アクセス制限を設定していませんか？**

  無線 LAN アクセスポイントの MAC アドレスフィルタリング機能を使用している場合は、本製品の MAC アドレスを無線 LAN アクセスポイントに登録して、通信を許可してください。

> 無線 LAN 接続用の MAC アドレスを調べるときは、本製品のネットワークを【無線 LAN】に切り替えてから、「ネットワーク設定リスト」を印刷してください。
> ⇒ 52 ページ「ネットワークの設定リストを印刷する」

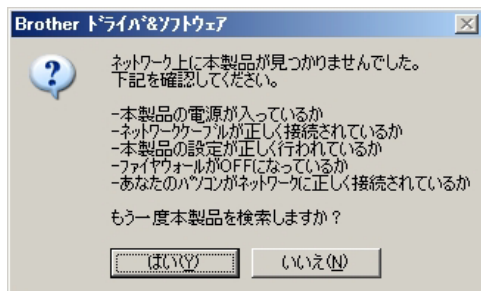
- **SSID（ネットワーク名）を表示させない設定にしていませんか？**

  無線 LAN アクセスポイントが SSID の隠ぺい（SSID ステルスモード）に設定されているときは、本製品から無線 LAN アクセスポイントの SSID を自動的に見つけることはできません。本製品の操作パネルから無線 LAN の手動設定を行ってください。

  ⇒41 ページ「操作パネルから無線LANの手動設定を行う」
- **パスワードの設定は正しいですか？**

  大文字、小文字は区別されます。認証されないときは、パスワードが間違っていないか確認してください。
- **近くで別の無線機器を使用していませんか？**

  近隣などですでに別の無線機器が導入されているときは、電波干渉を避けるために無線 LAN アクセスポイントのチャンネル番号をできるだけ離して（推奨：チャンネル番号 5 以上）設定してください。

インストール時、ネットワーク上に本製品が見つからない

以下の手順で確認してください。

1 お使いのパソコンから本製品までの接続機器が正常に稼働しているか確認する

⇒ 57 ページ「ネットワーク機器に問題がないか調べるには」

2 セキュリティソフトによってブロックされていないか確認する

⇒ 57 ページ「セキュリティソフトウェアについて」

3 設定しているネットワーク情報（IP アドレス）に誤りがないか確認する

⇒ 58 ページ「ネットワークの設定がうまくいかないときは」

印刷 / スキャンできない

以下の手順で確認してください。

1 お使いのパソコンから本製品までの接続ケーブルや接続機器が正常に動作しているか確認する

⇒ 57 ページ「ネットワーク機器に問題がないか調べるには」

2 セキュリティソフトによってブロックされていないか確認する

⇒ 57 ページ「セキュリティソフトウェアについて」

3 設定しているネットワーク情報（IP アドレス）に誤りがないか確認する

⇒ 58 ページ「ネットワークの設定がうまくいかないときは」

4 ルータやスイッチングハブの電源を入れ直す

頻繁に接続し直したり、接続している製品の IP アドレスを繰り返し変更した直後には、IP アドレス設定に間違いがなくても正常に動作しない可能性があります。ルータやハブ（HUB）の電源を入れ直してください。

5 古い印刷ジョブを削除する

印刷に失敗した古いデータが残っていると印刷できない場合があります。

Windows® の場合は、プリンタフォルダ内のプリンタアイコンをダブルクリックし、［プリンタ］メニューから［すべてのドキュメントの取り消し］を行ってください。

プリンタフォルダの表示方法

<Windows Vista®>
［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］－［プリンタ］の順にクリックします。

<Windows® XP/XP Professional x64 Edition>
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。

<Windows® 2000 Professional>
［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。

6 再度、印刷 / スキャンを試す

それでも印刷 / スキャンなどができない場合は、ドライバとソフトウェアをアンインストールして、再度インストールすることをお勧めします。

⇒ 59 ページ「5 ドライバの再インストールをする」

ネットワーク機器に問題がないか調べるには

お使いのパソコンから本製品までの接続機器が正常に稼動しているか、以下を確認してください。

● **本製品の電源は入っていますか？**

電源を入れて、印刷できる状態であることを確認します。エラーが出ている場合は、ユーザーズガイド 基本編の「こんなときは」を参照してエラーを解除してください。

● **パソコンとアクセスポイントがネットワークに接続できていますか？**

インターネット閲覧や E メールなどの機能が正常に動作しているか確認してください。

● **有線 LAN の場合**

接続したルータやハブ（HUB）のランプは点灯 / 点滅していますか？

一般的に、ルータ / ハブ（HUB）には接続状態を示すリンクランプがあり、点灯 / 点滅で接続状態を確認できます。本製品を接続している LAN ポートのリンクランプを確認します。

ランプが点灯 / 点滅している場合

接続には問題ありません。

ランプが点灯 / 点滅していない場合

接続に問題があるようです。以下を確認してください。

- **ハブ（HUB）またはルータなどの LAN ポートにパソコンと本製品が正しく接続されていますか？**
  接続されていない場合は正しく接続し直してください。
  ストレートケーブル以外は使用しないでください。他のケーブルで接続し直してください。
- **ほかの LAN ポートに接続し直したり、ほかの LAN ケーブルに差し換えてお試しください。**
  それでも点灯 / 点滅しない場合は、ハブ（HUB）または、ルータのメーカーにご相談ください。

● **無線 LAN の場合**

「無線 LAN アクセスポイントに接続できない」の項目で当てはまるものはありませんか？

⇒55ページ「無線LANアクセスポイントに接続できない」

セキュリティソフトウェアについて

インストール

市販のセキュリティソフトでパーソナルファイアウォール機能が有効に設定されていると、インストール中にセキュリティの許可を促す画面が表示されることがあります。この場合は許可をしてください。

注意

■ **セキュリティ許可を促す画面で、拒否をするとインストールの完了できないことがあります。この場合は、セキュリティソフトを再度インストールするか、セキュリティソフト提供元にお問い合わせください。**

印刷やその他の機能をご利用になるとき

インストール完了後、印刷やその他の機能をご使用になるときに、セキュリティ許可を促す画面が表示されることがあります。この場合も許可してください。拒否をした場合の対処や印刷に使用するポートの通信許可の方法については、セキュリティソフト提供元にお問い合わせください。

本製品のネットワーク機能をご利用になるとき

以下の機能をご利用いただく場合は、セキュリティ設定を行う必要があります。

- ネットワークスキャン
- ネットワーク PC ファクス受信（Windows® のみ）
- BRAdmin Light

それぞれのセキュリティソフトの設定で、下記のポート番号を追加してください。

ポート番号の追加方法は、お使いのセキュリティソフトの取扱説明書、またはセキュリティソフト提供元にお問い合わせください。

機能	名称 *	ポート番号	プロトコル（TCP/UDP）
ネットワークスキャン	例）Brother NetScan	54925	UDP
ネットワークPCファクス受信（Windows® のみ）	例）Brother PC-FAX RX	54926	UDP
BRAdmin Light	例）SNMP	161	UDP

* 名称は任意です。

ネットワークの設定がうまくいかないときは

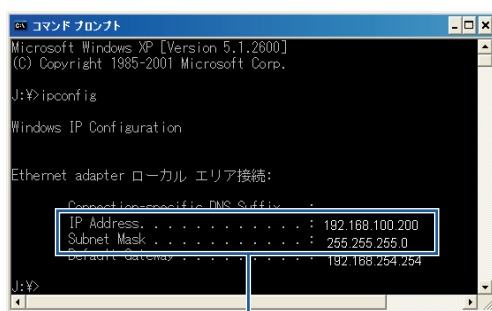
設定しているネットワーク情報（IP アドレスおよびサブネットマスク）に誤りがないかどうかを確認します。
お使いのパソコンと本製品の IP アドレスおよびサブネットマスクを以下の手順で確認します。

1 パソコンのネットワーク情報を調べる

Windows® の場合

1 ［スタート］メニューから［プログラム］-［アクセサリ］を選び、［コマンドプロンプト］をクリックする

2 「ipconfig」と入力し、Enter キーを押す

3 「IP Address（IP アドレス）」と「Subnet Mask（サブネットマスク）」の行を確認し、値を記入する

ここを調べる

(A) パソコン側

IP Address (IP アドレス)	.　.　.
Subnet Mask (サブネットマスク)	.　.　.

4 「Subnet Mask（サブネットマスク）」の値を確認する

Subnet Mask (サブネットマスク)	255.　255.　255.　0

上記のように「255.255.255.0」であることを確認してください。

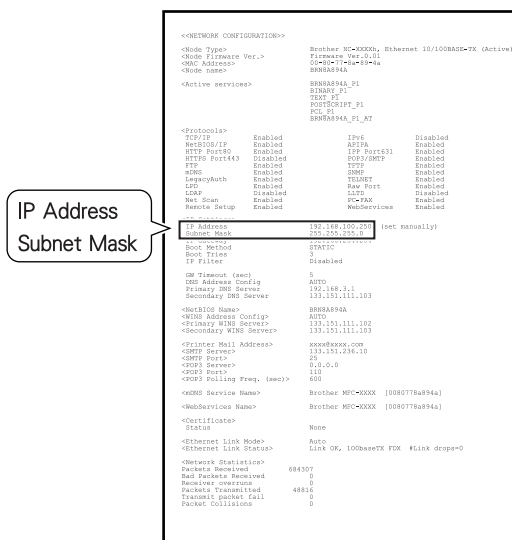
「255.255.255.0」以外の場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

5 「exit」と入力し、Enter キーを押して終了する

2 本製品のネットワーク情報を調べる

1 ネットワークの設定リストを印刷する

⇒52ページ「ネットワークの設定リストを印刷する」

2 「IP Address（IP アドレス）」と「Subnet Mask（サブネットマスク）」の行を確認し、値を記入する

(B) 本製品側

IP Address (IP アドレス)	.　.　.
Subnet Mask (サブネットマスク)	.　.　.

3 パソコンの IP アドレスと本製品の IP アドレスを比較する

58 ページ「1 パソコンのネットワーク情報を調べる」で書き留めた（A）の値と、「2 本製品のネットワーク情報を調べる」で書き留めた（B）の値を比較します。

(A) パソコン側

IP Address (IP アドレス)	XXX.　XXX.　XXX.	XXX

(B) 本製品側

IP Address (IP アドレス)	XXX.　XXX.　XXX.	XXX

1 (A) と (B) の太枠の部分が同じであることを確認する

例

(A) パソコン側

IP Address (IP アドレス)	192.　168.　123.	011

(B) 本製品側

IP Address (IP アドレス)	192.　168.　123.	250

2 灰色の部分の値が、(A) と (B) で異なることを確認する

3 灰色の部分の値が、2 ～ 254 の範囲内であることを確認する

4 本製品の IP アドレス取得方法を確認する

58 ページ「2 本製品のネットワーク情報を調べる」で印刷したネットワーク設定リストの、「Boot Method」の項目を確認します。

```
<<NETWORK CONFIGURATION>>

<Node Type>                  Brother NC-XXXXh, Ethernet 10/100BASE-TX (Active)
<Node Firmware Ver.>         Firmware Ver.0.01
<MAC Address>                00-80-77-8a-89-4a
<Node name>                  BRN8A894A

<Active services>            BRN8A894A_P1
                             BINARY_P1
                             TEXT_P1
                             POSTSCRIPT_P1
                             PCL_P1
                             BRN8A894A_P1_AT

<Protocols>
 TCP/IP          Enabled          IPv6            Disabled
 NetBIOS/IP      Enabled          APIPA           Enabled
 HTTP Port80     Enabled          IPP Port631     Enabled
 HTTPS Port443   Disabled         POP3/SMTP       Enabled
 FTP             Enabled          TFTP            Enabled
 mDNS            Enabled          SNMP            Enabled
 LegacyAuth      Enabled          TELNET          Enabled
 LPD             Enabled          Raw Port        Enabled
 LDAP            Disabled         LLTD            Disabled
 Net Scan        Enabled          PC-FAX          Enabled
 Remote Setup    Enabled          WebServices     Enabled

<IP Settings>
 IP Address                  192.168.100.250  (set manually)
 Subnet Mask                 255.255.255.0
 Boot Method                 STATIC
 IP Filter                   Disabled

 GW Timeout (sec)            5
 DNS Address Config          AUTO
 Primary DNS Server          192.168.3.1
 Secondary DNS Server        133.151.111.103

<NetBIOS Name>               BRN8A894A
<WINS Address Config>        AUTO
<Primary WINS Server>        133.151.111.102
<Secondary WINS Server>      133.151.111.103

<Printer Mail Address>       xxxx@xxxx.com
<SMTP Server>                133.151.236.10
<SMTP Port>                  25
<POP3 Server>                0.0.0.0
<POP3 Port>                  110
<POP3 Polling Freq. (sec)>   600

<mDNS Service Name>          Brother MFC-XXXX  [0080778a894a]

<WebServices Name>           Brother MFC-XXXX  [0080778a894a]

<Certificate>
 Status                      None

<Ethernet Link Mode>         Auto
<Ethernet Link Status>       Link OK, 100baseTX FDX  #Link drops=0

<Network Statistics>
Packets Received          684307
Bad Packets Received           0
Receiver overruns              0
Packets Transmitted        48816
Transmit packet fail           0
Packet Collisions              0
```

● 「Boot Method」が「AUTO」の場合

本製品をパソコンと同じルータやハブに接続し、本製品の電源を入れ直してください。それでも改善されない場合は、以下の「「Boot Method」が「STATIC」の場合」を参照して手動で設定してください。

● 「Boot Method」が「STATIC」の場合

本製品の IP アドレスを以下のように設定してください。

IP Address (IP アドレス)	XXX.　XXX.　XXX.	XXX

太枠内

58 ページ「1 パソコンのネットワーク情報を調べる」の (A) と同じ値を設定してください。

灰色の部分

ネットワークに参加しているすべてのパソコンと異なる、2 ～ 254 の値を設定してください。

この場合、他の機器と同じ IP アドレスにならないように、200 ～ 250 の範囲内で IP アドレスを選択することをお勧めします。(例えば、本製品の IP アドレスを 192.168.123.250 に割り当てます。) 詳しくは、お使いのルータの取扱説明書またはルータ提供元にお問い合わせください。

> 本製品の IP アドレス設定方法
> (1) 【メニュー】を押し、【ネットワーク】を押す
> (2) 【有線 LAN】または【無線 LAN】を押す
> (3) 【TCP/IP】を押す
> (4) 【IP アドレス】を押す
> (5) IP アドレスをタッチパネルから入力し、OK を押す
> (6) 停止/終了 を押す

5 ドライバの再インストールをする

現在の設定を有効にするために、ドライバのインストールを行います。すでにインストールが完了している場合は、アンインストールが必要です。

● アンインストール方法

Windows® の場合

スタートメニューから［すべてのプログラム (プログラム)］－［Brother］－［モデル名 LAN］－［アンインストール］の順に選択し、画面の指示に従ってください。

Macintosh の場合

(1) Macintosh に USB ケーブルや LAN ケーブルが接続されている場合は、ケーブルを外す
(2) Macintosh を再起動する
(3) 管理者 (Administrator) 権限でログインする
(4) (Mac OS X 10.3.9、10.4.x の場合)
［移動］メニューから［アプリケーション］を選択し、［ユーティリティ］－［プリンタ設定ユーティリティ］の順に開く
削除したいプリンタを選択し、［削除］をクリックする
(Mac OS X 10.5.x の場合)
［システム環境設定］－［プリントとファクス］の順に開き、削除したいプリンタを選択し、［－］ボタンをクリックする
(5) ［Macintosh HD］(起動ディスク) から［ライブラリ］－［Printers］の順に開き、「Brother」フォルダをごみ箱にドラッグして、ごみ箱を空する
(6) Macintosh を再起動する

CD-ROM の内容

付属の CD-ROM をセットして表示される画面から、以下のことが行えます。

Windows®

インストール

本製品をプリンタやスキャナとして使用するために必要なドライバをインストールします。また、本製品をより便利にお使いいただくために Presto! PageManager や ControlCenter3 などのソフトウェアもインストールします。
「修復インストール」をクリックすると、インストールがうまくいかなかった場合に、ドライバを自動的に修復できます。
※修復インストールは、USB ケーブルで接続している場合にのみ使用できます。

ネットワークユーティリティ

ソフトウェアを追加インストールできます。

- BRAdmin Light/BRAdmin Professional
  ネットワークプリンタなどネットワーク上で使用する機器を管理できるソフトウェアです。
- オートマチックドライバインストーラ

その他ソフトウェア

- FaceFilter Studio
  写真を簡単にふちなし印刷できます。また、顔がはっきり見えるように全体の明るさを調整したり、赤目の修正や表情を変化させることもできるソフトウェアです。
- BookScan&Whiteboard Suite
  スキャンした本の画像の影を除去したり、デジタルカメラで撮影されたホワイトボードの画像を自動補正できるソフトウェアです。
- NewSoft® Presto! Image Folio
  画像を編集できるソフトウェアです。

画面で見るマニュアル

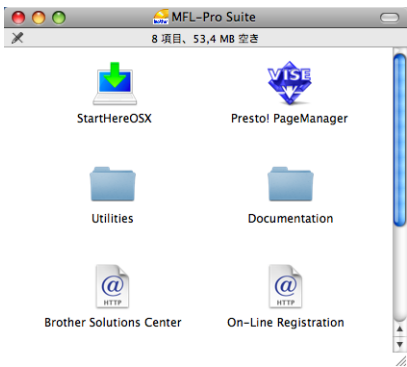
「画面で見るマニュアル」（HTML 形式）がパソコン上で閲覧、印刷できます。

サービスとサポート

- ブラザーホームページ
  ブラザーのホームページへリンクします。
- ソリューションセンター
  インターネット経由で、本製品の最新情報を閲覧したり、最新データのダウンロードが行えます。
- ブラザーダイレクトクラブ
  インクカートリッジなどが購入できるオンラインショップへリンクします。
- 消耗品情報
  ブラザー純正の消耗品などの購入について案内しているサイトへリンクします。

オンラインユーザー登録

オンラインでユーザー登録を行います。

Macintosh

StartHereOSX
本製品をプリンタやスキャナとして使用するために必要なドライバをインストールします。
Presto! PageManager
TWAIN 準拠のスキャナソフトウェアをインストールします。 Mac OS X 10.3.9 以降をお使いの場合は、CD-ROM からインストール可能です。 Mac OS X 10.2.4 ～ 10.3.8 をお使いの場合は、ブラザーソリューションセンターからソフトウェアをダウンロードする必要があります。「ドライバとソフトウェアをインストールする」の手順に従ってください。
Utilities
無線 LAN 設定ウィザードが用意されています。
Documentation
画面で見るマニュアル（HTML 形式）が Macintosh 上で閲覧、印刷できます。
Brother Solutions Center
インターネット経由で、本製品の最新情報を閲覧したり、最新データのダウンロードが行えます。
On-Line Registration
オンラインでユーザー登録を行います。

動作環境

本製品とパソコンを接続してお使いいただくには、下記の動作環境が必要です。また、最新のドライバ対応状況についてはブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/）でご確認いただけます。

Windows®

OS/CPU/ メモリ

- Windows® 2000 Professional
  Pentium® II プロセッサ　300MHz（Pentium® 互換 CPU 含む）以上 /64MB （推奨 256MB ）以上
- Windows® XP
  Pentium® II プロセッサ　300MHz（Pentium® 互換 CPU 含む）以上 /128MB （推奨 256MB ）以上
- Windows® XP Professional x64 Edition
  AMD Opteron™ プロセッサ
  AMD Athlon™ 64 プロセッサ
  Intel® EM64T に対応した Intel® Xeon®
  Intel® EM64T に対応した Intel® Pentium® 4
  256MB（推奨 512MB）以上
- Windows Vista®
  1GHz 32 ビット（x86）または 64 ビット（x64）のプロセッサ /512MB（推奨 1GB）以上

※ CD-ROM ドライブ必須

※ 本製品のすべての機能を快適にご使用いただくために、以下の環境を推奨します。

- Windows® 2000 Professional または Windows® XP をお使いの場合
  1.0GHz 以上の 32 ビット（x86）プロセッサと 256MB 以上のシステムメモリを搭載したパソコン。
- Windows Vista® をお使いの場合
  1.2GHz 以上の 32 ビット（x86）デュアルコアプロセッサと 1GB 以上のシステムメモリを搭載したパソコン。

ディスク容量

480MB 以上（Windows Vista® 以外）/
1.1GB 以上（Windows Vista®）の空き容量

Web ブラウザ

Microsoft® Internet Explorer® 5.5 以上が必要です。

※ Microsoft® Internet Explorer® 6 以上を推奨します。

インターフェース

- USB 2.0 ハイスピード
- 有線ネットワーク（10BASE-T）/（100BASE-TX）
- 無線ネットワーク（IEEE802.11b/g）

※ LAN ケーブルは、市販品をご利用ください。

※ USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。

※ USB 1.1 対応のパソコンとも接続できます。

CPU のスペックやメモリの容量に余裕があると、動作が安定します。

Macintosh

OS/CPU/ メモリ

- Mac OS X 10.2.4 ～ 10.4.3
  PowerPC G3 350MHz 以上（PowerPC G4/G5 含む）
  128MB（推奨 256MB）以上
- Mac OS X 10.4.4 以上
  PowerPC G4/G5, Intel® Core™ processor
  512MB（推奨 1GB）以上

※ CD-ROM ドライブ必須

ディスク容量

480MB 以上の空き容量

インターフェース

- USB 2.0 ハイスピード
- 有線ネットワーク（10BASE-T）/（100BASE-TX）
- 無線ネットワーク（IEEE802.11b/g）

※ LAN ケーブルは、市販品をご利用ください。

※ USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。

※ USB 1.1 対応の Macintosh とも接続できます。

CPU のスペックやメモリの容量に余裕があると、動作が安定します。

Mac OS X への対応状況は、弊社ホームページにて最新の情報を公開しています。以下のアドレスを参照してください。
http://solutions.brother.co.jp/

用語集

無線 LAN に関する用語

● SSID とは

接続先のネットワークを識別するためのIDです。接続先のSSIDを本製品に設定することによって、無線での通信が行えます。

無線 LAN アクセスポイントの設定によっては、セキュリティの強化のために、SSID を非表示にする機能が有効になっている場合があります。(SSID の隠ぺい)

● 認証方式と暗号方式について

無線 LAN を使用する場合、通信内容を盗み見られたり、ネットワークに不正に侵入されるのを防ぐために、セキュリティの設定が必要です。セキュリティに関する設定として、「認証方式」と「暗号化方式」があります。本製品は、以下の方式をサポートしています。

- 認証方式 : オープンシステム認証、共有キー認証、WPA-PSK/WPA2-PSK
- 暗号化方式 :WEP、TKIP、AES

● インフラストラクチャ通信

インフラストラクチャ通信のネットワークでは、ネットワークの中心に無線 LAN アクセスポイントが設置されています。無線 LAN アクセスポイントは、有線のネットワークへ橋渡しをする他にゲートウェイとしても機能します。本製品をインフラストラクチャモードに設定している場合は、すべての印刷ジョブを無線 LAN アクセスポイントを経由して受け取ります。

● 無線 LAN アクセスポイント

ネットワークに無線で接続するための親機のことで、ネットワークの中心に位置します。個々の無線 LAN 端末は子機を装着し、無線 LAN アクセスポイントを介して通信します。無線 LAN アクセスポイントはまた、無線 LAN のセキュリティ管理も行います。無線 LAN ルータと呼ばれることもあります。

● アドホック通信

アドホック通信のネットワーク（ピアツーピアネットワークともいいます）では、無線 LAN アクセスポイントが存在しません。それぞれの無線機器は個別に直接通信します。本製品をアドホックモードに設定している場合は、印刷データを送信するコンピュータからすべての印刷ジョブを直接受け取ります。

この続きは…

ここまでの操作で、本製品を使用するための準備が終了しました。本製品をお使いいただくときは、目的に合わせて必要なユーザーズガイドをよくお読みいただき、正しくお使いください。

「ユーザーズガイド」（冊子）

- ご使用の前に
- ファクス
- 電話帳
- 転送・リモコン機能
- コピー
- フォトメディアキャプチャ
- こんなときは

画面で見るマニュアル（HTML 形式）

- プリンタ
- スキャナ
- PC-FAX
- フォトメディアキャプチャ
- リモートセットアップ
- ControlCenter

「画面で見るマニュアル」を閲覧するには

CD-ROM に収録されている「画面で見るマニュアル」を見たいときは、以下の手順で操作します。

Windows® の場合

(1) **付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする**

モデルを選択する画面が表示されたときは、お使いのモデルをクリックします。

◆ トップメニューが表示されます。

(2) **「画面で見るマニュアル」をクリックする**

(3) **「画面で見るマニュアル（HTML 形式）」をクリックする**

◆「画面で見るマニュアル」が表示されます。

パソコンにドライバをインストールすると、Windows® のスタートメニューから画面で見るマニュアルを閲覧できます。
［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-6890CN］－［画面で見るマニュアル（HTML 形式）］を選んでください。

Macintosh の場合

(1) **付属の CD-ROM を Macintosh の CD-ROM ドライブにセットする**

(2) **「Documentation」をダブルクリックする**

(3) **「top.html」をダブルクリックする**

◆「画面で見るマニュアル」が表示されます。

商標について

本文中では、OS 名称を略記しています。
Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。
Windows® XP Professional x64 Edition の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system Professional x64 Edition です。
Windows Vista® の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating system です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Macintosh、Mac OS は、Apple Inc. の登録商標です。
FaceFilter Studio は、Reallusion Inc. の登録商標です。
Intel、Pentium、Xeon は、Intel Corporation の登録商標です。
AMD Athlon 64、AMD Opteron は、Advanced Micro Devices, Inc. の登録商標です。
AOSS は、株式会社バッファローの商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切ではない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。
These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後 5 年です。（印刷物は 2 年です）

関連製品のご案内

innobella

innobella（イノベラ）は、ブラザーの純正消耗品の新シリーズです。イノベラの名前は、イノベーション（innovation.「革新的」）とベラ（Bella・イタリア語で「美しい」）の２つの言葉に由来しています。 革新的なプリント技術により美しく鮮やかな高品質のプリントを実現します。写真の印刷には「イノベラ写真光沢紙」をおすすめいたします。イノベラインクとあわせてお使い頂ければ、鮮やかでキメの細かい発色、つややかな仕上がりの超高画質の写真プリントを実現します。また、安定した印刷品質の維持のためにも、イノベラインク・イノベラ写真光沢紙、およびブラザー純正の専用紙のご使用をお勧めいたします。

消耗品

インクや記録紙などの消耗品は、残りが少なくなったらなるべく早くお買い求めください。本製品の機能および印刷品質維持のため、下記の弊社純正品または推奨品のご使用をお勧めします。弊社純正品は携帯電話からもご注文いただけます。

インクカートリッジ

種類	型番
ブラック（黒）	LC11BK、LC16BK（大容量）
イエロー（黄）	LC11Y、LC16Y（大容量）
シアン（青）	LC11C、LC16C（大容量）
マゼンタ（赤）	LC11M、LC16M（大容量）
4 個パック ［ブラック（黒）/ イエロー（黄）/ シアン（青）/ マゼンタ（赤）各 1 個］	LC11-4PK、LC16-4PK（大容量）
黒 2 個パック ［ブラック（黒）2 個］	LC11BK-2PK、LC16BK-2PK（大容量）

- 本製品にはじめてインクカートリッジをセットした場合は、本体にインクを充填させるため、2 回目以降にセットするインクカートリッジと比較して印刷可能枚数が少なくなります。
- 純正品のブラザーインクカートリッジをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。

専用紙・推奨紙

記録紙種類	商品名	型番（サイズ）	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA3（A3）	250 枚入り
		BP60PA（A4）	250 枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP71GA3（A3）	20 枚入り
		BP71GA4（A4）	20 枚入り
		BP71GLJ50（L 判）	50 枚入り
		BP71GLJ100（L 判）	100 枚入り
		BP71GLJ300（L 判）	300 枚入り
		BP71GLJ500（L 判）	500 枚入り
マット紙	インクジェット紙（マット仕上げ）	BP60MA3（A3）	25 枚入り
		BP60MA（A4）	25 枚入り

- OHP フィルムは、住友スリーエム社製 OHP フィルム（型番：CG3410）のご使用を推奨します。
- 最新の専用紙・推奨紙については、ホームページ（http://solutions.brother.co.jp/）をご覧ください。

ブラザー工業株式会社
〒 467-8561
愛知県名古屋市瑞穂区苗代町 15-1